



公益社団法人

鹿児島県診療放射線技師会

会報

令和8年5月

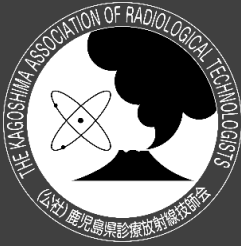
第145号



公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

鹿児島市東坂元4丁目28-11

TEL 099-248-0028



鹿児島県診療放射線技師会 LINE 公式アカウント



友だち追加はこちら!!

- ① 行事・研究会のお知らせ
- ② 研究会アーカイブ配信案内
- ③ 会員限定サポート情報
- ④ 会報発行案内
- ⑤ その他各種案内

* 県内の診療放射線技師であれば非会員でも登録 OK です！

鹿児島県診療放射線技師会 会報 第145号 目次

【巻頭言】	鹿児島県診療放射線技師会 副会長 渡邊 義治	2
【会告】	第105回 定時総会について	3
【案内】	第105回 定時総会・春季学術大会のご案内	6
【お知らせ】	会報電子化のお知らせ	8
	組織理事よりお知らせ	9
【開催報告】	第63回 鹿児島CT研究会	11
	第80回 鹿児島消化器画像研究会	13
	令和7年度 鹿児島県原子力防災訓練	14
	令和7年度 大島地域研修会	16
	令和7年度 鹿児島さくらRT研修会	17
	令和7年度 北薩地域研修会	18
	令和7年度 リーダー及びリーダー育成研修会	20
	第47回 南薩地域研修会	21
	令和7年度 放射線機器管理士部会研修会	23
	第31回 鹿児島MRI研究会	27
【議事録】	令和7年度 第4回常務理事会 議事録(抄)	29
	令和7年度 第5回理事会 議事録(抄)	33
	令和7年度 第5回常務理事会 議事録(抄)	37
【行事・活動予定】		39
【鹿児島県診療放射線技師会 役員名簿】		40
【企業広告】		41
【編集後記】		50
【総会資料】	第105回 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 定時総会資料	51

《 卷頭言 》

令和 8 年度にむけて

鹿児島県診療放射線技師会

副会長 渡邊 義治

新年度を迎えるにあたり、会員の皆様に謹んでご挨拶申し上げます。日頃より鹿児島県診療放射線技師会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本会では、会員の皆様の学術的向上と情報共有を目的として、各部会や研究会、研修会を開催しております。こうした活動は、知識や技術を学ぶ場であると同時に、会員同士が交流し、互いの経験や課題を共有できる貴重な機会でもあります。今年度も多くの会員の皆様にご参加いただき、日常業務に役立つ知見の習得や活発な意見交換の場としてご活用いただければ幸いです。

さて、私自身、2月に開催された大島地域研修会に参加させていただきました。離島地域における放射線業務の現状や課題について直接お話を伺うことができ、大変有意義な機会となりました。その一方で、研修会全体としては参加率の低下が見られ、また施設間の交流の機会が以前と比べて少なくなっているのではないかという印象も受けました。コロナ禍を経て研修会の形態が変化したこともあり、近隣施設同士のつながりや会員同士の関係が希薄化してしまうのではないかという点を、少なからず危惧しております。

Web参加による研修会も安定的な運営が進み、多くの皆様が参加しやすい環境が整ってきました。これは非常に有意義な取り組みであり、今後も継続していくことが重要であると考えています。一方で、対面形式の研修会には、実際に顔を合わせて意見交換を行い、他施設の会員同士が情報交換し、親睦を深めることができるという大きな意義があります。こうしたつながりは、施設間における相談のしやすさにもつながり、結果として地域医療の質の向上にも寄与するものと考えます。

今後は、Webと対面それぞれの利点を活かしながら、研修会や部会活動の充実を図っていくことが重要です。特に対面での研修会においては、学術的な内容に加え、会員同士が交流しやすい環境づくりについても技師会として積極的にバックアップしていきたいと考えております。地域や施設の垣根を越えて、会員同士がつながりを深められる場を大切にしていけることが、これからの技師会活動において重要な要素になるのではないのでしょうか。

本会は、会員一人ひとりの活動によって支えられております。今後も部会や研究会、各種研修会への積極的なご参加をお願いするとともに、会員の皆様のご意見を伺いながら、より魅力ある技師会活動を展開していきたいと考えております。

結びに、本年度が会員の皆様にとって実り多い一年となりますことを祈念するとともに、引き続き本会活動へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会 告

第 105 回定時総会について

表記について、下記のとおり定時総会を開催します。

議題は令和 7 年度の事業報告及び決算報告、令和 8 年度の事業計画及び予算計画です。会場と Web を用いた併用開催で実施します。尚、Web 参加をされる会員・欠席される会員については、本会定款 30 条による書面議決権の行使による議案の賛否を問う形で実施致します。

ご多忙と存じますが万障繰り合わせの上、ご出席または Web 配信の視聴下さりますようよろしくお願いいたします。

また、どうしても参加できない場合や Web 配信で視聴される場合でも、必ず **電子投票 または はがき（議決権行使書・委任状）** を提出していただきますよう、お願い申し上げます。

日 時 : 令和 8 年 5 月 31 日 (日) 10:30~12:00
会 場 : 鹿児島市立病院 1 階 多目的ホール Web 併用開催
議 題 : 令和 7 年度の事業報告及び決算報告
令和 8 年度の事業計画及び予算計画
その他

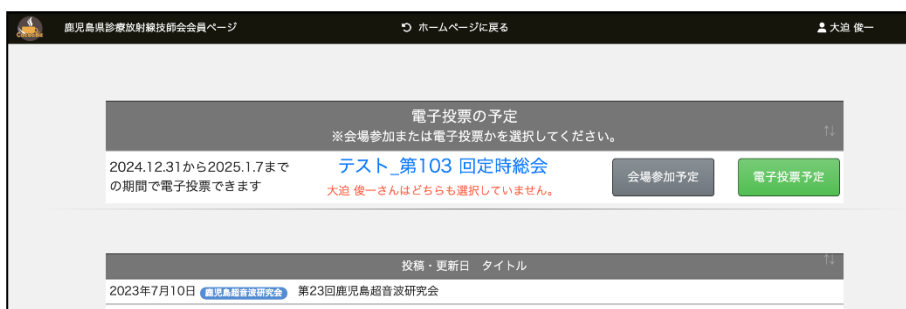
***ご都合により欠席される場合、または Web 配信で視聴される場合は、別途送付されるはがき（議決権行使書・委任状）をご確認のうえ、電子投票または必要事項をご記入いただき、ご投函ください。（5月22日必着）**

***できるだけ電子投票へのご協力お願い致します。**

<電子投票の方法について>

第 105 回定時総会では、各議案に対して**電子投票**も可能です。投票は、下記の手順で会員ページより行います。

- ① 県技師会ホームページより会員サイト(<https://krtbiz.kagoshima-rt.or.jp/>)へアクセス
ログインすると会員サイトに電子投票の案内が表示されます。(下図：会員サイト画面)



会場参加予定 : 現地参加予定の方はこちらをクリック

電子投票予定 : 現地参加しない方は、こちらをクリック

*** 電子投票には別途送られてくる はがき（議決権行使書・委任状）に記載されている投票用パスワードが必要となります。**



② ログインは、会員番号と別途送られてくる はがき に記載されている投票用パスワードを入力してログインをお願いします。（右図：電子投票 ログイン画面）

- *投票についての確認事項か必ず確認してください。
- *パスワードは、会員個人専用となるので取り扱いには注意してください。

テスト_第103 回定時総会

※投票についての確認事項

投票は、「電子投票」、「ハガキによる投票」、「現地に参加して投票」の3パターンがありいずれも参加できます。

1. 電子投票と書面による投票を行った場合は、電子投票を有効とします。
2. 総会当日参加し挙手にて意思表示を行った場合は、総会当日の内容を有効とします。

※投票についての確認事項に同意していただける方は、以下からログインしてください。

会員番号

投票パスワード (通知した6桁の数字)

投票についての確認事項に同意してログインする

③ 各項目を選択し、投票を行ってください。（下図：投票画面）

テスト_第103 回定時総会について

放射線 太郎 さんの電子投票です。

※既に投票確認済みですが修正した場合は、確認なしで自動更新されます。

【← 終了する】 [投票を確認する]

令和5年度の事業報告及び決算報告 令和5年度の監査報告 令和6年度の事業計画及び予算計画

令和5年度の事業報告及び決算報告

承認する 承認しない

ご意見を投稿できます。

各項目ごとに投票をお願いします。

こちらに、各項目ごとに議案の内容が表示されます。

令和5年度事業報告

④ すべての項目を確認し、 承認する 承認しない のいずれかを選択してください。入力後、 をクリックし投票を完了してください。

*投票していないタブ(項目)がある場合は、下記の表示がでます。確認後に投票を完了してください。

テスト_第103 回定時総会について

【← 戻る】

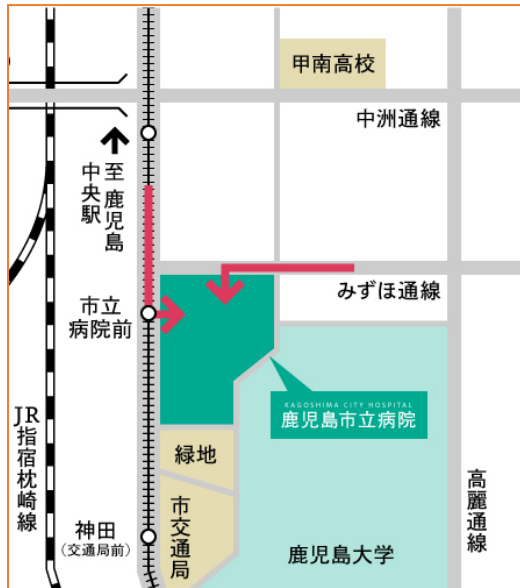
△ 回答のない案件があります。全ての案件に回答してください。

▲令和5年度の事業報告及び決算報告

令和5年度の監査報告 承認する

令和6年度の事業計画及び予算計画 承認する

<交通アクセス>



【駐車場】



【1F 平面図】

- ・市電：鹿児島駅前台郡元(市電2系統)電停「市立病院前」下車
- ・バス：鹿児島交通 15-2、26 番線 バス停「市立病院前」下車
- ・JR：鹿児島本線・指宿枕崎線「鹿児島中央駅」下車後、市電又はバスに乗り換え
- ・自家用車：病院駐車場をご利用いただけます。

駐車料金を無料にできますので、駐車券を忘れず会場にご持参ください。

【ご視聴方法】

下記のミーティングリンクからアクセスしてください。

すでにアプリをお持ちの方は、アプリを起動後にミーティング番号を入力して参加することもできます。



第 105 回定時総会・春季学術大会（共通）

令和 8 年 5 月 31 日 日曜日 10:30 から（テスト配信 10：00～）

<https://kagosimart.my.webex.com/kagosimart.my/j.php?MTID=m7a9bae279db371354d84bc348c4c67e9>

ミーティング番号: 2518 438 5657

パスワード: KRT0531

【注意事項】

配信された動画、発表内容のスクリーンキャプチャ、動画記録、動画撮影などを禁じます。

他者に参加に必要な URL 等を共有することを禁じます。

その他、会運営および他の参加者の迷惑となる行為があったと運営側が判断した場合は、総会・春季学術大会の参加をご遠慮いただくことがあります。

【事前準備のお願い】

本会はテレビ会議システム「Webex」を使用します。

Webex を初めてご使用になる方は、お時間がありましたら事前に「Webex デスクトップアプリ 又はモバイルアプリ」を事前にダウンロードいただければ、当日はスムーズに開始できます。

<https://www.webex.com/ja/downloads.html>

以上

公益社団法人鹿児島県放射線技師会

第 105 回定時総会・特別講演・春季学術大会（ご案内）

謹啓

新緑の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より本会の事業運営にご協力を賜り誠に有り難うございます。

さて、第 105 回 公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会定時総会、学術大会を開催致します。ご多忙とは思いますが、多数ご参加下さいますようお願いいたします。

敬具

日 時 : 令和 8 年 5 月 31 日 (日) 10:30 ~ 16:30

開催方法 : 会場&Web のハイブリッド開催

会 場 : 鹿児島市立病院 多目的ホール (鹿児島市上荒田町 37-1)

スケジュール :

【定時総会】10:30 ~ 12:00

【特別講演】13:00 ~ 14:00

「高額医療機器の更新から考える」

地域マネジメント研究所 代表 成清 哲也 先生

【表彰式・基調講演】14:10 ~ 15:30

第 20 回 九州放射線医療技術学術大会 in 鹿児島大会

フレッシュアズ賞 : 今村総合病院 福田 萌乃 様

優秀賞 : 鹿児島大学病院 元日田 調 様

学術奨励賞 : 今村総合病院 馬場 隆行 様

基調講演

「頸椎開口位撮影における環軸椎関節描出不良の要因分析と
ATLAS-View による改善策の検討」

今村総合病院 馬場 隆行 先生

【春季学術大会】15:40 ~ 16:30 (先着順演題募集中)

特別講演

「高額医療機器の更新から考える」

地域マネジメント研究所 代表 成清哲也先生

マネジメントとは単なるコントロールではなく、変化を創出し続ける営みである。収支管理はそのための手段に過ぎず、本質は「あるべき姿」を構想し、それを実現するプロセスにある。

とりわけ高額医療機器のような重要な意思決定においては、償却時期を過ぎてから関係者に働きかけて購入するものではない。次期更新を見据えつつ今回の更新計画を進めるべきであり、中長期的な視野で検討する必要がある。すなわち、地域ニーズを起点としつつ、病院全体を俯瞰した全体最適の観点から、戦略的に判断することが不可欠である。

また、VUCA と呼ばれる不確実性の高い環境下において、変化に対応し、さらには先導していくためには、診療放射線技師においても従来の医療者としての立場にとどまらず、マネジメント的な思考と行動が求められる。そのためには、知識と経験の往還によるスパイラルが能力形成を促進することを踏まえ、既存スキルの棚卸しを意識的に行い、新たな学習機会を確保するための余白（時間・資源・人的ネットワーク）を創出することが重要である。

皆様方におかれましては高額医療機器の更新に関しては苦慮されていることと存じます。

我々診療放射線技師も病院の経営のことまで考えた行動が今は求められています。

この機会に是非、高額医療機器の更新を考える上でのポイント、スキルを学んで頂きたいと存じます。

多数の会員のみなさまのご参加をお待ち致しております。

記

日時：令和8年5月31日（日） 13:00～14:00

会場：鹿児島市立病院 多目的ホール（鹿児島市上荒田町37-1）

鹿児島県診療放射線技師会 会報 の電子化について

鹿児島県診療放射線技師会

会長 大迫 俊一

これまで本会では、会報発行に係る費用の削減を目的として、ページ数の制限や会報・ニュースの発行方法の見直しなど、さまざまな工夫を行ってまいりました。

しかしながら、近年の印刷費や郵送費の高騰により、1回の会報発行に要するコストは増加傾向にあります。

そこで本会では、会報第143号・第144号においていただいたご意見を踏まえ、下記の内容を踏まえ、令和8年度（2026年度）より会報およびニュースレターの電子化（PDF形式）を段階的に導入することを、令和7年度第5回理事会において決定いたしました。

① 会報発刊の通知方法について

県診療放射線技師会ホームページおよびLINEにてお知らせします。

② 過去の会報誌のアーカイブ化について

鹿児島県診療放射線技師会ホームページに掲載します。

③ 紙媒体による会報の希望について

紙媒体での会報を希望される方には、これまでどおり発送いたします。

④ 会報のカラー化について

電子会報についてはフルカラーとし、紙媒体の会報については費用面を考慮し、従来どおりの仕様で発行いたします。

⑤ 情報発信頻度について

会報の作成にはその都度費用を要するため、発行回数を増やすことは困難ですが、研究会等の開催報告などについては、ホームページやLINEも活用しながら情報発信に努めてまいります。

電子化した会報・ニュースレターは、鹿児島県診療放射線技師会ホームページに掲載し、あわせてアーカイブ化することで、会員の皆さまがいつでも自由に閲覧できる環境を整備する予定です。

また、電子化により削減された経費を活用し、会報内容の充実を図るとともに、地域活動、研究会等への支援にも積極的に充てていく方針です。

これにより、会員の皆さまにとって、より有益で魅力ある情報発信が可能になると考えております。

なお、従来どおり紙媒体での会報を希望される会員の皆さまには、引き続き郵送にてお届けいたします。紙媒体の希望・停止に関しては、下記のURLまたは二次元コードよりお手続きくださいますようお願いいたします。

* 今後は、県技師会ホームページにて紙媒体の希望・停止を登録できるようにする予定です。

URL : <https://forms.gle/vQC74s7M99dvnk8m9>



締め切り : 2026年8月31日(月)

組織理事よりお知らせ

組織担当 木場淳

1.入会案内につきまして

(公社)日本診療放射線技師会では、技師籍登録初年度の入会費用が「**無料!**」となっており、大変お得に入会することが出来ます。(※なお本会分の年会費 7500 円は必要です)

また資格確認も「登録済証明書」のハガキで可能です。

同施設で入会されていない新人の方や、お知り合いで未入会の方がいらっしゃいましたら是非とも入会をお勧めください。

入会種別		入会金	年会費	初年度合計
通常入会	日本診療放射線技師会	5000	14000	19000
	鹿児島県診療放射線技師会(九州地域学術大会負担金含む)	0	7500	7500
				26500
技師籍登録初年度	日本診療放射線技師会	無料	無料	無料
	鹿児島県診療放射線技師会(九州地域学術大会負担金含む)	0	7500	7500
				7500

2. 退会手続きにつきまして

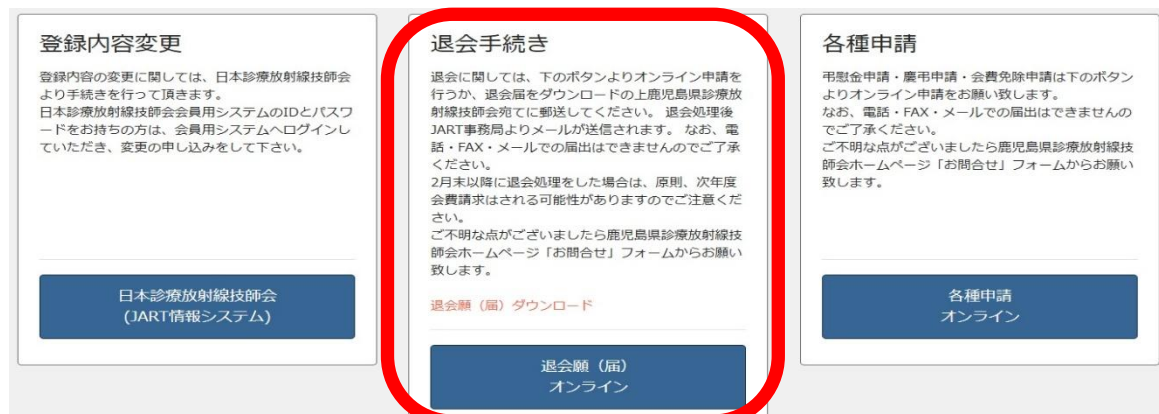
当会からの退会を希望される場合は、当会ホームページの会員サイトにログインしていただき、ページ下の「退会手続き」からのオンライン申請をお願い致します。不可能な方は退会届ダウンロードし当会宛の郵送でも構いませんが時間を要してしまいます。また当会では電話・FAX・メールでの届出はできませんのでご了承ください。なお年度末退会をお考えの方は 2 月末以降に退会申請された場合、原則、次年度会費請求される可能性がありますのでご注意ください。

※退会する場合は、当年度までの会費を納める必要があります。

※当会退会と同時に公益社団法人日本診療放射線技師会も退会となります。



鹿児島県診療放射線技師会ホームページメニュー「会員サイト」よりログイン



会員サイトトップページ下「退会手続き」よりオンライン申請

3.会員情報の変更について

会員情報が変更になられた際には JART 会員情報システム (JARTIS) 登録の変更をお願いします。
また県ホームページの会員サイトも個人情報の編集をお願い致します。
本会はこの情報を基に活動させていただいております。皆様のご協力をお願いいたします。

①JART 情報システムの変更方法

JARTIS ログイン → 「登録情報を確認・変更する」 → 「編集」もしくは "鉛筆" マークをクリック

■会員情報

[病院等施設の名称や所在地を登録・変更する](#) [会費の免除を申請する](#) [ラダーの取得状況を確認する](#)

本システムでは病院等施設の名称や所在地を一元管理しております。開業に伴う新規登録、移転等による所在地変更、合併等による名称変更を連絡する場合は、こちらより承っております。※手続きの詳細はこちらをご覧ください。

以下の条件に該当する場合は会費の一部、もしくは全額が免除されます。会費の免除申請を希望される方は、こちらよりご申請いただけます。

○休職のための会費免除申請
・長期療養、介護、海外勤務等により休職する場合
・出産・育児により休職する場合

クリニカルラダー・マネジメントラダーのレベルやカウントなどの取得状況をご確認いただけます。

[登録情報を確認・変更する](#)

ご自身の登録情報(住所・勤務先・学位等)の確認と変更を行っていただけます。

※このページの「連絡先(会誌・書類等送付先)」が会誌の送付先となります。
送付先を変更される際は、こちらのプルダウンメニュー(自宅、勤務先)より選択してください。

②県ホームページ会員サイトの編集方法

会員サイトログイン→左上 CacaoBiz アイコン→設定→個人情報編集→更新保存

鹿児島 太郎 (カゴシマ タロウ)

パスワード ログインパスワード

電話 電話番号

生年月日 性別 選択

個人情報 写真

勤務先名 勤務先

勤務先〒 勤務先住所

プライベートメール 電話 携帯

連絡先住所 自宅

第 63 回鹿児島 CT 研究会 開催報告

鹿児島 CT 研究会

大井病院 愛下 剛

第 63 回鹿児島 CT 研究会を、2026 年 1 月 31 日（土）14:30 から 17:00 時まで、現地開催とウェブ視聴のハイブリッド形式で開催しました。現地には 24 名、ウェブ視聴では 46 名の参加がありました。

今年度、CT においてご活躍された県内の診療放射線技師の皆様をお願いして、テクニカル・ノンテクニカルな部分の情報を共有していただけたこととなりました。また、特別講演では九州初となるフォトンカウントティング CT の稼働に従事している鹿児島大学病院の林 六計（ハヤシ ムツカズ）先生を迎えて、基礎から臨床まで幅広く講演していただきました。

司会）愛下 剛（大井病院）

施設発表

座長：愛下 剛（大井病院）

二渡 智英（霧島市医師会医療センター）

マルチペーシェント用 CT インジェクションシステムが CT の造影検査に与える影響

鹿児島市立病院 木原 悠太 会員

造影 CT 検査後の待機中における副作用観察体制の整備について

霧島市立医師会医療センター 坂口 右己 会員

心臓+大動脈~下肢 CTA -造影理論 and ちょい攻略-

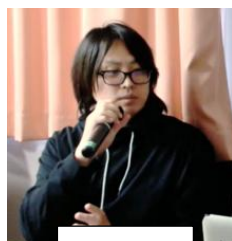
青雲会病院 中村 空也 会員

冠動脈 CT における体格補正を考慮した造影剤基準体重の有用性について

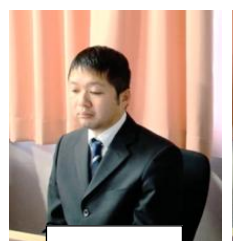
川内市医師会立市民病院 木場 あかり 会員

Photon-counting CT における撮影管電圧が仮想単色 X 線画像に与える影響

鹿児島大学病院 川野 零旺 会員



二渡会員



木原会員



坂口会員



中村会員



木場会員



川野会員

特別講演

座長：愛下 剛（大井病院）

Photon-counting CT の臨床応用－基礎原理と CT 技術の歩みを踏まえて－

鹿児島大学病院 医療技術部 放射線部門 林 六計 会員

本日のまとめ

- PCCTはまさに次世代のCT装置であり、高分解能画像とスペクトラル解析を両立することが可能。
- さまざまなCT技術の特性を把握し、今後のさらなる進化に対応していく必要がある。
- 最新技術が正解というわけではなく、施設ごとに装置特性を最大限に生かせるよう基礎的な検討を行った上で、臨床へフィードバックしていくことが重要。
- スペクトラル解析ツールの種類や、新たなエネルギー情報の活用法など、今後のPCCTの進化にも期待。



林 会員



愛下会員

開催を終えて

今回の研究会は鹿児島県のCTに従事する会員の凄さを体感できる研究会でした。

次回は2026年5月に開催を予定しております。今後も鹿児島県におけるCT技術の向上を目指し、企画や情報提供を進めてまいりますので、引き続きご参加・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

世話人： 代表	愛下 剛	大井病院
	岩元 優樹	鹿児島医療センター
	沖中 裕幸	川内市医師会立市民病院
	木村 圭佑	南風病院
	二渡 智英	霧島市医師会医療センター
	濱田 智太郎	いまきいれ総合病院
	林 六計	鹿児島大学病院
	福留 慎也	米盛病院
	和田 敏弘	今村総合病院
	穂山 和章	鹿児島厚生連病院
	米田 寛彬	鹿児島市立病院

第63回 鹿児島CT研究会

現地 50%

Web 150%

2026

01/31

14:30-17:00

ハイブリッド開催会場（会場）

鹿児島市立病院2F大会室 (50名)

〒890-8760 鹿児島県鹿児島市上野田3-7-1

電話番号：099-235-7000

お申し込み方法

参加申し込みは専用WEBサイトから

<https://passmarKet.yahoo.co.jp/event/show/detail/021ge743ru41.html>

申し込み締切：1月29日(木) 19:00

※本会場に限り事前申込制。申し込み締切後、日本郵政郵便振替、日本郵政ゆうちょ銀行振替、日本郵政ゆうちょ銀行振替のいずれかでお申し込みください。

※参加費用*

無料：鹿児島県放射線科技術員会・学生・一般（その他別掲）

500円：鹿児島県放射線科技術員会会費

1000円：メーカー関係者

2000円：学費（聴講生参加費）

※学費、CTにおいて活躍される県内外の放射線科技術員会員を対象として、アタカから・ノンアタカから参加料を減額していることになりました。また、参加費減額の対象となるフロントデスクCTの開催に協賛している鹿児島大学病院の、片側片側を設けて、会場から会場まで広く観覧していただけます。

14:30-14:55 開会挨拶 鹿児島CT研究会 副会長 林 六計

14:55-15:50 産 産 産 今年度全国・九州学会で活躍された施設

- ▶ マルチエネルギーCT-造影剤システムがCTの造影検査に与える影響 鹿児島市立病院 本原 悠太
- ▶ 造影CT検査後の特種中における副作用観察体制の整備について 鹿児島市立医師会医療センター 樋口 右己
- ▶ 心臓+大動脈+下腹CTA -造影理論andちよいと投稿- 奥倉 尚典
- ▶ 冠動脈CTにおける体積補正を考慮した造影剤基準体積の有用性について 川内市医師会立市民病院 木塚 あかり
- ▶ Photon-counting CTにおける撮影管電圧が低線量単色X線画像に与える影響 鹿児島大学病院 川野 幸枝

15:50-15:55 休憩

15:55-16:55 特別講演

Photon-counting CTの臨床応用
－基礎原理とCT技術の歩みを踏まえて－

鹿児島大学病院 医療技術部 放射線部門 林 六計

16:55-17:00 閉会挨拶 鹿児島CT研究会 代表世話人

第80回 鹿児島県消化器画像研究会

霧島市立医師会医療センター
橋本 隆志

令和8年2月4日(水)、WEB開催にて第80回鹿児島県消化器画像研究会が開催されました。35名の参加がありました。

第1部 メーカー情報提供

「透視装置の最新情報」FUJIFILM 前田道利

FUJIFILM社製汎用X線透視診断装置「CUREVISTA」について、安全・快適性の向上や被ばく低減を中心に紹介がありました。

安全面では、被検者移動や指挟み、機材接触などのリスクを低減し、穿刺・内視鏡併用時も安定した検査環境を確保する“完全固定テーブル”や被検者の体位変換を最小限にし、管球を縦・横・斜めに角度調整し最適アングルを迅速に取得することにより、手技中断の減少、スタッフ被ばくの低減に寄与する“多方向アーム”の紹介。

被ばく低減面では、不要照射を抑制する“4辺独立コリメータ”、線量を下げつつ滑らかな透視画像を維持する“フレーム補間処理”、散乱線を含めた線量分布をマップ表示する“IntelliMAP”により、被験者だけでなく術者の被曝低減にも注力した装置となっております。



第2部 胃X線基礎レクチャー(読影)

「症例検討における読影」南風病院 日高稔

読影に関する基礎知識を中心にレクチャーがありました。慢性胃炎や委縮の程度(背景粘膜)の評価法をはじめ、病変の部位、集中したひだの先端の読み方や、粘膜性状の特徴を“形”“内部性状”“境界”に分けて詳細な読影手順のレクチャーがありました。実際のX線写真を多数提示しながら丁寧に解説していただきました。明日からすぐにでも使える内容でとても勉強になりました。



第3部 胃X線症例検討

症例提示① 鹿児島厚生連病院 萩原純久

症例提示② 南風病院 淵脇崇史

2つの施設から症例提示がありました。読影者として1症例目を南風病院の山下さん、上川さん。2症例目を鹿児島厚生連病院健康管理センターの高松さん、恒吉さんにしていただきました。第2部でレクチャーのあった手順に沿って読影を進め、病変の部位、ひだ、内部性状、進展範囲から深達度診断までじっくり読影をしていただきました。2症例共に深達度や範囲診断へのディスカッションが行われ、活発な意見交換が行われました。それぞれの症例に対して提示者から読影の解説、内視鏡写真の提示、病理との対比、症例に対しての反省点などをまとめていただき、とても貴重な体験となりました。

次回開催も技師会ホームページ等にてご案内いたしますので、会員、非会員問わず多くの方の参加をお待ちしております。

令和7年度鹿児島県原子力防災訓練 参加報告

鹿児島医療技術専門学校 東 幸浩

令和8年2月7日(土)、日置市の日吉総合体育館にて令和7年度鹿児島県原子力防災訓練 避難退域時検査実施訓練がおこなわれました。原子力防災訓練は、国の原子力災害対策指針等を踏まえ、県及び関係市町で策定した避難計画に基づき、地域住民の防災意識の向上や関係機関相互の連携強化を図るため、住民の協力を得て、国、事業者等と連携して総合的な訓練を実施しています。避難退域時検査とは、原子力災害が発生し、放射性物質が放出されたことにより、避難や一時移転される方の汚染状況を確認することを目的として実施される検査で日置市の会場には、訓練参加機関の鹿児島県診療放射線技師会4名、原子力災害医療協力機関(鹿児島赤十字病院2名)、日置市2名、いちき串木野市4名、九州電力3名、伊集院保健所7名、加世田保健所6名、庁内動員6名 計34名が各エリアの役割と検査の手順を確認しながら訓練に臨みました。

私たちは、指定箇所検査と確認検査の測定検査員を2名1組で担当し、記録員1名の計3人で検査を実施しました。測定検査員は、GMサーベイメータを使用して、1名が体の前面全体を、もう1名が体の後面全体を測定し、各部位の測定値を読み上げ記録員へ伝えます。測定時間は、住民1人あたり約2~3分程度かかります。確認検査で特定した汚染箇所については、簡易除染をおこない、簡易除染後に再度、汚染箇所の測定をおこないます。訓練終了後、参加機関全員での反省会では、会場レイアウトが狭く、当日現場で修正をおこない対応したことや、GMサーベイメータが事前に配布された資料の取扱いマニュアルと機種が異なっていたため、時定数の設定に戸惑ったなどの問題点を協議しました。今回の課題・問題点等について、その解決に向けた取り組みを各エリア・項目ごと目標に掲げることにより、来年度以降の訓練において解決を図っていくことが重要であると感じました。



日吉総合体育館



GM サーベイメータ



確認検査

当会から派遣された会員

大迫 俊一 (相良病院)

木佐貫 克朗 (加世田病院)

蓑田 辰則 (今村総合病院)

東 幸浩 (鹿児島医療技術専門学校)

鹿児島県原子力防災訓練参加報告書（長島会場）

鹿児島市医師会病院 木場淳

令和8年2月7日（土）鹿児島県原子力防災訓練長島会場（川床コミュニティ運動場）に参加いたしました。巨大地震が発生し川内原子力発電所で原子力災害が発生、UPZからの避難退域検査に対応する要員として当会から2名派遣されました。県内最北端の会場であり鹿児島市内から2時間強かけての移動となりました。当日は朝方まで雨が降りグラウンドがぬかるんで条件の悪い中、車両検査から代表者検査、住民検査、模擬汚染者には簡易除染、安定ヨウ素剤配布まで一連の訓練が行われました。当会から派遣された要員は、代表者検査で汚染があった場合車両内の住民簡易検査に1名、代表者簡易検査と住民簡易検査で汚染確認された場合の全身検査で1名配置されました。私は前者の指定箇所の測定員に配置され、同乗者に対して、顔面、手掌、手甲をサーベイしました。今回は車いす住民のサーベイもあり、指定箇所に加えて車いす自体も同時並行でサーベイしなければならず悪戦苦闘いたしました。また避難民を乗せたマイクロバスが会場前の急峻な坂に侵入できないためキャンセルとなり検査対象者が数名で終了するハプニングもあり、そもそも検査場としてふさわしくないのではないかとの指摘も上がり長島町役場の方が困惑されているのが印象的でした。

今年の住民検査エリアでは私以外はほぼ初めての参加ということで、リーダーへ昨年の状況報告と反省点を連携し、受付前待機椅子の車いす同線を配慮したレイアウト変更の提案や、防護着着用や検査票記入方法の説明等かなり実務的に動くことができました。やはり訓練で慣れている人が配置されていないと遅延や混乱の原因になると痛感いたしました。訓練を視察した講師からは今回は100点との講評をいただきましたが、「放射線汚染」と「迅速に」を気に留めながら訓練することが重要であると指摘されました。大変有意義な訓練に参加させていただき深謝いたします。

当会から派遣された会員右より（敬称略）

- ・中野孝二（出水総合医療センター）
- ・木場淳（鹿児島市医師会病院）



令和7年度 大島地域研修会 開催報告

大島地域 学術担当 柳田 龍一郎

令和8年2月21日、令和7年度大島地域研修会を開催した。今回は大島病院救命センター4階研修ホールを会場とし、参加者は13名であった。

話題提供では株式会社根本杏林堂営業技術の小林氏より、「今こそ！造影検査の再構成」と題して、造影理論の基礎的内容から可変注入法、造影検査の安全管理などに関する情報をご紹介いただいた。

会員発表では、県立大島病院の永元技師、児玉技師より症例報告があった。

永元技師からは、救急でのMRI撮影にて、追加シーケンスが診断の一助となった症例について報告があった。

児玉技師からは、テストインジェクション法により右室瘤と診断に至った症例について報告があった。

教育講演では、県立大島病院放射線科の鐘撞医師より、大島病院における血管内治療の実態や、これまでにご経験された産科危機的出血に対する血管内治療の症例についてガイドラインの紹介を交えながらご講演いただいた。

今回の研修会では、造影理論に関する話題提供や救急撮影、テストインジェクション法に関する症例報告、血管内治療に関する教育講演と幅広く知識を深めることができ、非常に有意義な研修となった。

最後に、本研修については毎年度開催されているところではあるが、地域内の会員も減少傾向となっており開催が厳しい状況にある。

地域内の会員の協力のもと、今後多数の方々にご参加いただける研修となれば幸いである。



会場の様子



集合写真

令和7年度鹿児島さくら RT 研修会 開催報告

鹿児島さくら RT 世話人 相良病院 吉岡 未来

令和7年度鹿児島さくらRT研修会を2026年2月26日(木)19:00～21:00 Webにて開催致しました。参加者は68名(診療放射線技師59名,非会員4名、学生2名、他職種3名)の方に御参加頂き盛會に終えることができました。

◇研修会プログラムは以下の通りです。

日時:令和8年2月26日(木) 19時～21時 会場:Web 開催 司会進行 相良病院 吉岡 未来

【開会挨拶】(19時～19時10分)

【県技師会活動報告】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 大迫 俊一

【話題提供】(19時10分～20:20分) 座長 いまきいれ総合病院 丸尾 美由紀

・マンモグラフィのポジショニング向上への挑戦～相良病院 ver.～ 相良病院 南 紫織

・心に寄り添うブレストアートメイク ブレストアートメイク看護師 坂口 千枝

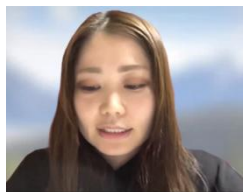
【講演】(20時20分～20時55分) 座長 今村総合病院 上川 翔美

・嚥下造影検査(VF)で読み解く嚥下障害について～画像で支える「食べる力」～

今村総合病院 言語聴覚士 若松 藍

【閉会の挨拶】(20時55分) 鹿児島さくら RT 世話人代表 丸尾 美由紀

話題提供として、「マンモグラフィのポジショニング向上への挑戦」という内容で相良病院の南技師にお話を頂きました。日々の業務では件数をこなすことが目的になりポジショニングは自己流になりやすいですが、南技師の講演でもあったように、ポジショニングのひとつひとつの意味を理解することが最適な画像につながるのだと感じました。ブレストアートメイク看護師の坂口さんの講演では、乳房手術後の方に対し、術側の乳輪・乳頭の色や形を再現するアートメイクがあることを初めて知りました。このような選択肢が増えることで、患者様の生活の質や心理的負担が軽減されるのだと感じました。医療は治療だけでなく、その後の生活を支えることの重要性を学ぶことができました。今村総合病院の言語聴覚士の若松さんの講演では、「嚥下造影検査で読み解く嚥下障害について」という内容で、嚥下障害の基礎から嚥下造影で何を見ているか、どのような評価をしているか、多職種連携の大切さについて言語聴覚士の目線からお話をして下さいました。嚥下造影は嚥下の動態を客観的に評価できる唯一の画像検査で、嚥下の有無だけでなく、なぜ起こるのかまで分析でき、画像所見を具体的な支援に変換できる。という内容でした。次年度も、世話人一同、皆様のお役に立てるテーマを考えていきますので、次回も、鹿児島さくら RT 研修会への御参加を宜しくお願ひします。



司会進行 吉岡 未来技師



大迫 俊一会長



鹿児島さくら RT 代表 丸尾 美由紀



講師:南 紫織 技師



座長:上川 翔美技師



講師:若松 藍先生



平石祐己氏



荒武俊平氏



山下翔護氏



中島隆氏



脇田慎一氏



会場風景



会場風景



懇親会

令和7年度 リーダーおよびリーダー育成研修会 開催報告

学術担当 藤崎 誠

令和7年度 リーダーおよびリーダー育成研修会が3月4日(水)にWebで開催された。
参加者は43名であった。(会員43名)今回は30代や女性技師の参加が特に印象的であった。

今年度は接遇をテーマとして熊本県放射線技師会副会長の中島佳子先生に
「診療放射線技師のための接遇講座」についてご講演いただいた。

先生には自身の体験に基づくお話しから、特に診療放射線技師のスキルアップに繋がる会話術なども交えてご講演頂いた。



中島佳子先生



大迫会長

クレームは自らが成長するチャンスであると捉えること。

接遇力がアップすることによりモチベーションが上がる、仕事が好きになるなどの効果があること。

医療従事者にはFor you精神が必要であること。 など学んだ。

クレームは成長するチャンス

- クレームは、大きな教え

言ってもらえて、初めて気づく

- クレームを言うということは、良くなることを期待している

成長して欲しいと想って頂いている

- 一番怖いのは

**その場で言われずに
口コミで評判が下がること**

接遇力UPにより

- 信頼され人脈が増える
- 自ら学びたくなる
- モチベーションが上がる
- 仕事を任せられる
- 感謝されることが増える
- 仕事が好きになる
- メンタルが元気になる

医療従事者に必要な接遇力

- ① 笑顔
- ② あいさつ
- ③ アイコンタクト
- ④ 身だしなみ
- ⑤ 言葉
- ⑥ 話し方
- ⑦ ボディーランゲージ

For you 精神

受診者のために
職場のために
一緒に働く仲間のために

人生の大事な「あ・い・う・え・お」

- あ 愛**
• 相手を思うこと (FOR YOU)
- い 意志・意識**
• 強い意志の上には大きな愛がある
- う 運**
• 運の上には強い意志があり、運の下には縁がある
- え 縁**
• 縁の下には、恩がある
- お 恩**
• 恩の次には「か」感謝がある

人生の大事な「あ・い・う・え・お」

感銘を受けたので掲載しました。

受講された方にとっては今後の若手や新人技師教育にも役立てられることが期待される。

鹿児島県診療放射線技師会 第 47 回南薩地域研修会 開催報告

医療法人和風会加世田病院 木佐貫 克朗

令和 7 年度第 47 回南薩地域研修会をハイブリッド配信にて、下記の日程にて開催いたしました。

日 時 2026 年 3 月 7 日(土)

時 間 15:00～18:00

場 所 医療法人誠心会前原総合医療病院 2 階会議室

参加費 鹿児島県診療放射線技師会会員・学生・その他医療職・一般:無料 県外会員:500 円 非会員:2000 円 メーカー:1000 円

【開催内容】

【開会の挨拶】15:00～ (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 大迫 俊一

【会員発表】15:10～

「当院における“アメーバ経営”の取り組み」

菊野病院 野中 康博

「小児股関節生殖腺シールドが廃止になったのを知っていますか？」

南州メディカル 川西 義浩

【メーカー講演】15:30～

「線量管理システムの最新情報」

株式会社メディカルクリエイト 折田 信一 様

「Dry Cool Technology 搭載 MRI の最新情報」

シーメンスヘルスケア株式会社 MR 事業部 諸井 貴 様

【特別講演】16:50～ 座長:馬場病院 長野 勝悟

ケニア医療支援で見た「いのち」～スラムの現実から、オリンピック・人種差医療の謎まで～

医療ライター 末吉 純子 様

【閉会の挨拶】17:50～

南薩地域理事 木佐貫 克朗

【懇親会】18:30～

会 場 「酒房あじと」～ダイニングバーすみか～

【総括】

例年通り、南薩地域研修会のスタイルに則り、会員発表 2 題、メーカー講演 2 題、特別講演 1 題の構成で開催されました。参加者は会場 21 名(うち技師 14 名)、Web 参加 9 名の計 30 名(うち県外 1 名)となり、アットホームなハイブリッド開催となりました。

【会員発表】

1 題目は、菊野病院の野中会員より、同院が実践する「アメーバ経営」について発表いただきました。

稲盛和夫氏の経営 12 カ条やルールの紹介に加え、導入経緯や現場での苦労話など、実体験に基づいた貴重なお話を伺うことができました。

2 題目は、川西会員より「小児股関節シールドが廃止になったのを知っていますか？」をテーマに発表いただきました。線量管理と技術的な根拠に基づいた解説とともに、現場での患者説明の在り方についても言及されました。なお詳細は会報誌 2 月号、3 月号に掲載されている事も情報共有して頂きました。

【メーカー講演】

メディカルクリエイトの折田様からは、被ばく線量管理の背景と、DRLs 2020 から 2025 への更新に伴う最適化への助言、同社の最新の線量管理システムについて解説いただきました。

続いて、シーメンスヘルスケアの諸井様より、最新の「Dry Cool Technology」搭載 MRI についてご紹介いただきました。ヘリウムフリー化を実現した同社の技術革新の歴史と、開発の背景にある社会情勢まで、深く掘り下げた内容で苦労された開発が伝わる内容でした。

【特別講演】

日置市出身の末吉様をお招きして、看護師としてのキャリアを経て、現在はキャリアコンサルタントとして活躍されており、2010年にNPO法人チャイルドドクタージャパンの一員として、ケニアで活動された際の経験を中心に、現地で直面した現実や心身の変化を語っていただきました。また現地のグルメやお酒の話題も交えた女性目線での軽快な語り口、またびっくりする内容に参加者一同、引き込まれるひとときとなりました。

【懇親会・謝辞】

研修会終了後は「酒房あじと」へ場所を移し、講演では聞けなかったエピソードを、参加者からの突っ込んだ質問で引き出しながら大いに花を咲かせました。親睦を深めるうちに時間は瞬く間に過ぎ、盛況のうちにお開きとなりました。

末筆ながら、会場を快く開放してくださった前原総合医療病院の皆様をはじめ、ご講演いただいた講師の方々、運営にご協力いただいた皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

【次回予告】

第48回研修会は、令和8年9月26日(土)15時より、**県立薩南病院**にてハイブリッド開催を予定しております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。



会員発表1題目

会場質問にいていねいに答える野中会員



会員発表2題目

現場で使える情報を共有頂いた川西会員



研修会終了後末吉様を囲んで

大迫会長 末吉様 南薩地域世話人長野会員



第47回研修会懇親会

「酒房あじと」にて懇親会集合写真

令和7年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会(開催報告)

放射線機器管理士部会 部会長 藤崎拓郎

令和7年度の鹿児島県放射線機器管理士部会研修会が、令和8年3月10日(火)に下記内容にて、開催されましたので報告致します。


令和8年2月吉日

会員各位

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会
会長 大道 俊一
鹿児島県放射線機器管理士部会
部会長 藤崎 拓郎

令和7年度 鹿児島県放射線機器管理士部会研修会 開催案内

下記の日程、要項で放射線機器管理士部会研修会を開催することとなりました。
管理士資格の有無は問いません。多数参加して頂きますようお願い申し上げます。



日時 令和8年3月10日(火)
時間 18時30分～20時
会場 WEB開催(Webex Meetings)
参加費 診療放射線技師 会員:無料 非会員:2,000円 県外の診療放射線技師
会員:500円 メーカー関係者:1,000円 その他:無料
登録 参加者登録が必要です。3月9日0時締切
下記アドレスからQRコードからご登録下さい。
<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/02x8g6awdv41.html>

18:25～18:30
【県技師会活動報告】 (公社)鹿児島県診療放射線技師会 会長 大道 俊一
【部会活動報告】 鹿児島県放射線機器管理士部会 部会長 藤崎 拓郎

【トピックス】 18:30～18:50 司会: 鹿児島市立病院 米田 寛彬
『PM装着患者のMRI検査時のCE立ち合いについて』
日本メドトロニック(株) カードリアプリズムマネジメント 田口 眞子 先生

【教育講演】 18:50～19:20 司会: 今村総合病院 恵 智徳
『装置メーカーが行う保守点検について学ぼう(第2弾)』
X線発生装置全般
(株)島津製作所 医用機器事業部 サービス統括部 小野 圭介 先生

【テーマ討論】 19:30～20:00 司会: 南風病院 中原 武志
『新規装置導入時の初期研修について』
①各施設の実施状況(アンケート結果報告)
②初期研修の概要(メーカーより)
(株)島津製作所 医用機器事業部 サービス統括部 小野 圭介 先生

尚、本会員参加者には、日本診療放射線技師会学術研修カウントが与えられる予定です。
【連絡先】 川内市医師会立市民病院 放射線課 0996(23)4418 藤崎まで

今回は、トピックスとして、『PM装着患者のMRI検査時のCE(臨床工学技士)立ち合いについて』と題し、日本メドトロニック(株) 田口 眞子 先生に、令和7年6月に日本不整脈心電学会から通達された指針で、メーカーの立ち合い制限について詳細に講演していただきました。また、教育講演として、前回のCT装置、MRI装置に続き、演題名『装置メーカーが行う保守点検について学ぼう(第2弾)』と題して、X線発生装置全般について、(株)島津製作所 小野 圭介 先生に、実際にどのような内容の点検を行っているかを講演していただき、日常の放射線医療機器管理に生かそうと考え企画しました。さらに、テーマ討論は、『新規装置導入時の初期研修について』と題し、義務化された初期研修について、県内各施設の実施状況(アンケート結果報告)を藤崎拓郎部会長が報告し、メーカーからは初期研修の概要を、教育講演に引き続き(株)島津製作所 小野 圭介 先生にご講演いただきました。

トピックス: PM装着患者のMRI検査時のCE立ち合いについての講演では、医療機器情報サービス提供者



(CDR)の役割に、各種法令やコンプライアンス遵守の観点から、臨床現場において機器操作を行わない。遠隔モニタリングに患者登録など医療施設における通常

業務を行わない。等の日本不整脈心電学会からの指針があり、今までCDRが行っていたペースメーカー、ICD埋込手術時、埋込患者のMRI検査時の役割について制限されたなどの説明があった。また、我々診療放射線技師にあまり馴染みのない当該デバイスにおける最大手でもある日本メドトロニック(株)の紹介やCDRの役割、業務についてもご講演いただき、とても興味深い内容のご講演となった。

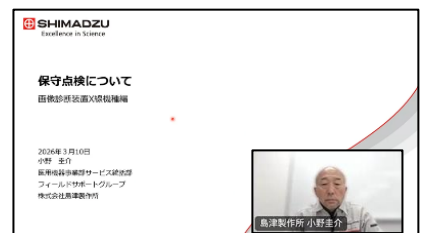


教育講演: X線発生装置のメーカーが行う保守点検の講演では、平成30年6月の厚生労働省からの通達



に該当する装置ではありませんが、CT、MRI装置と同様に近いうちに管理医療機器に入ってくるものと予想されるX線発生装置の保守点検についてご講演いた

だいた。今回、X線発生装置全般の区切りで一般撮影装置から透視装置、ポータブル、血管造影装置までの広い範囲となってしまいましたが、前回と同様に、装置が正常に稼働するためにメーカーで決められた規程でしっかり点検、管理されていることをあらためて認識させてもらいました。その他、それぞれの装置の特有な点検項目、点検で注視す

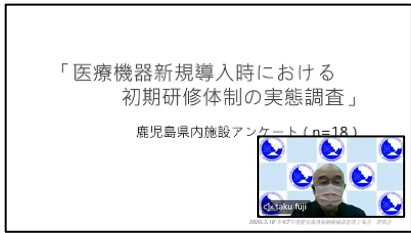


べき項目、日常点検で必ず実施して欲しい項目など詳細に説明していただきました。

テーマ討論：新規装置導入時の初期研修についての討論では、まず始めに県内施設の実施状況について、



以下のアンケートの結果が報告された。今回のアンケートからは、①18 の医療施設（大規模病院:3, 中規模病院:11, 小規模病院:4）から回答の協力が得られた。・実施主体はメーカー主導が多く、自施設主体での体系的運用は限定的であった。

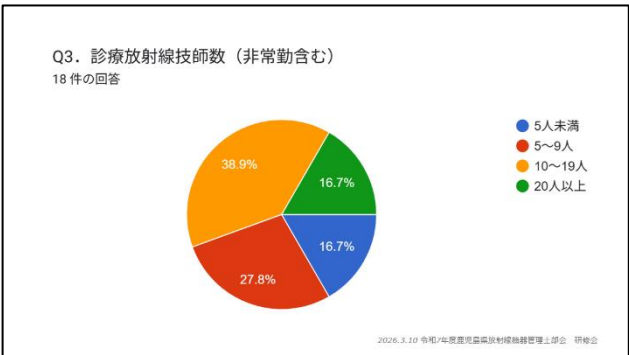
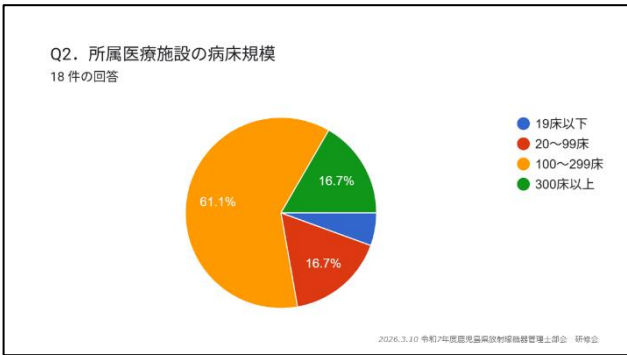
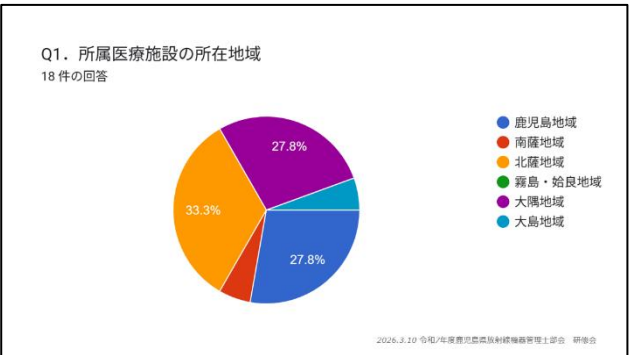


②実施内容は、ほとんどの施設は医療機器に関するインシデントを把握しているが、初期研修に生かしている施設は 8 施設であった。また、医療安全部門と連携している施設も 10 施設であった。③記録管理は、医療機器管理ソフトを使用している施設が 2 施設、自施設様式で整備している施設が 5 施設あった。一方、記録未整備の施設も認められた。③保健所の医療監視時の医療機器管理の確認は、11 施設にとどまった。④日本医療機能評価機構の医療機器管理の確認は、研修未受講者への対応、医療安全部門との連携等、より一歩進んだ管理を求められることが分かった。次に、メーカーから初期研修の概要と実際に行っている研修項目や全国的な動向などもご講演いただいた。現時点でアンケートからは、医療監視時の放射線機器についての初期研修実施状況確認は、それ程厳しくない印象ではあるが、我々放射線機器管理者としては、日本医療機能評価機構が行う確認のより一歩進んだ管理をやるべきだろうと思います。以下にアンケート結果スライドを抜粋して掲載します。アンケートにご協力頂いた方に、あらためて感謝申し上げます。



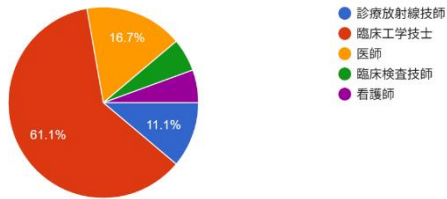
最後に：本部会は来年度から当会副会長でもある今村総合病院の恵智徳氏に部会長が交替し新たに活動致します。会員の皆さまの部会への益々のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

「医療機器新規導入時における初期研修体制の実態調査」
鹿児島県内施設アンケート (n=18)
放射線機器管理士部会 藤崎 拓郎
2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士部会 研学会



Q4. 病院全体の医療機器管理責任者の職種

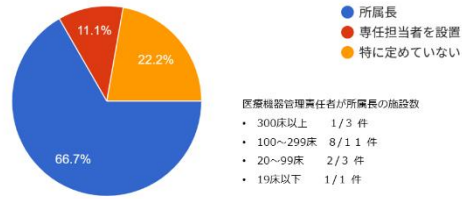
18件の回答



2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

Q5. 放射線部門内の医療機器管理責任者

18件の回答

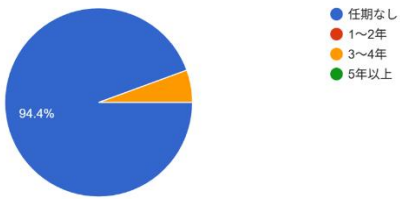


医療機器管理責任者が所属長の施設数
 ・ 300床以上 1/3 件
 ・ 100~299床 8/11 件
 ・ 20~99床 2/3 件
 ・ 19床以下 1/1 件

2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

Q6. 放射線部門内の医療機器管理責任者の任期

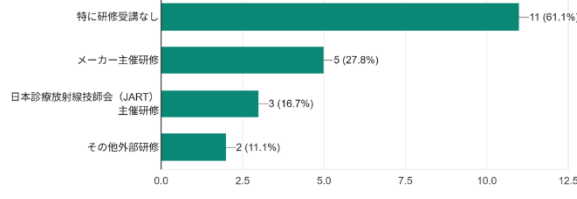
18件の回答



2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

Q7. 医療機器管理責任者の医療機器管理に関する研修の受講状況（複数回答可）

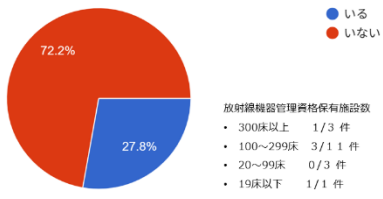
18件の回答



2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

Q8. 医療機器管理責任者の放射線医療機器管理士資格保有の有無

18件の回答

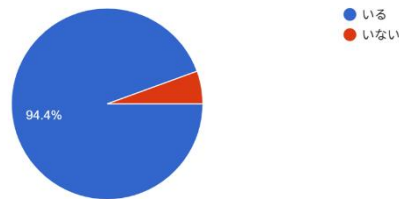


放射線機器管理資格保有施設数
 ・ 300床以上 1/3 件
 ・ 100~299床 3/11 件
 ・ 20~99床 0/3 件
 ・ 19床以下 1/1 件

2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

Q9. 放射線部門内の医療機器関連のインシデントを確認把握していますか

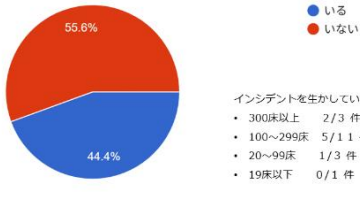
18件の回答



2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

Q11. 上記、Q4、Q5の医療機器関連のインシデントを初期研修等に生かしていますか

18件の回答



インシデントを生かしている施設数
 ・ 300床以上 2/3 件
 ・ 100~299床 5/11 件
 ・ 20~99床 1/3 件
 ・ 19床以下 0/1 件

2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

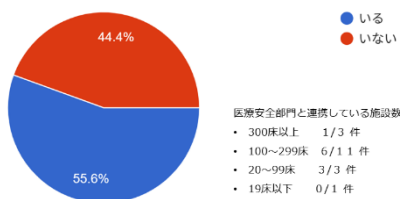
インシデントをどのように生かしているかを具体的に教えてください。

- ・ エラーが起きやすいポイントを把握し、その部分の説明は丁寧に行なっている。
- ・ シミュレーションの実施など
- ・ 事例をもとに、同様なインシデントが起こりえないかの検証
- ・ 起こりやすい事象などは、再発しないように対策を講じている
- ・ 起った事例を伝えている
- ・ 部内カンファ・マニュアル作成
- ・ インシデントの多い医療機器の研修を起った部署に優先して行うなどしている。
- ・ どのような装置の扱い方をしてどのようなインシデントが発生したかを伝え、再発防止に生かしています

2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

Q12. 医療機器管理を病院の医療安全部門と連携して行っていますか

18件の回答



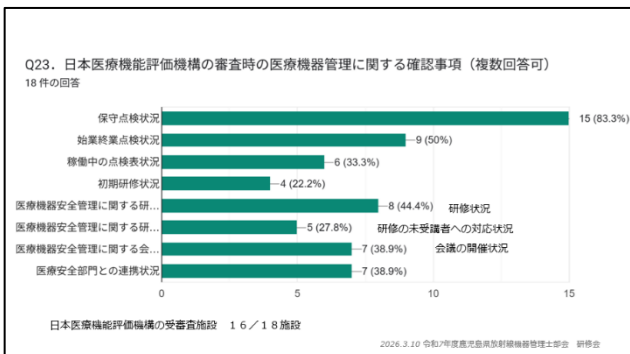
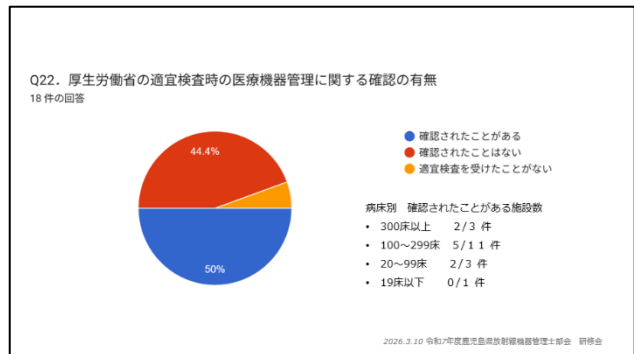
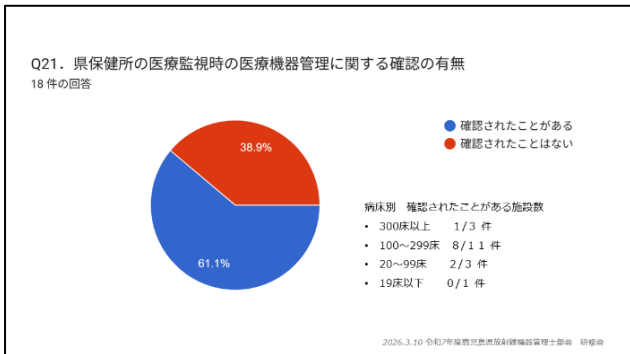
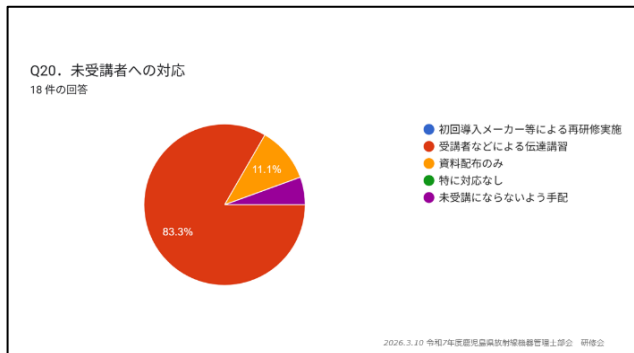
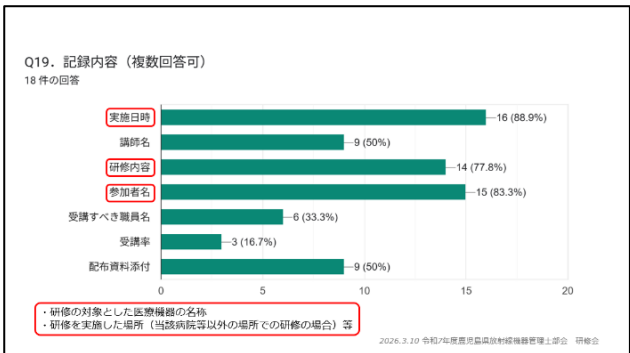
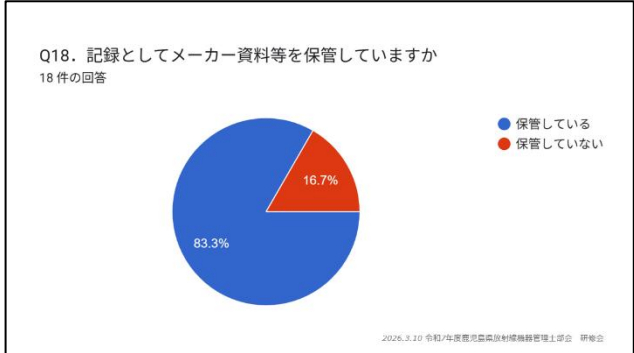
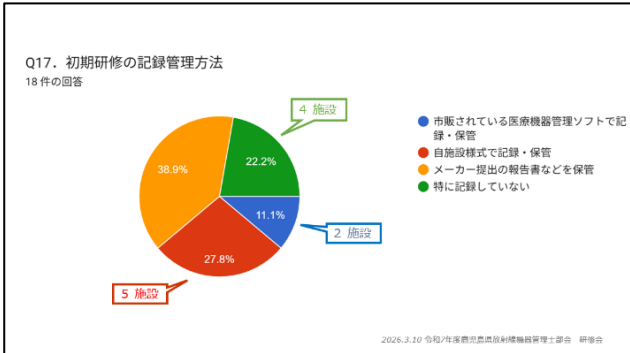
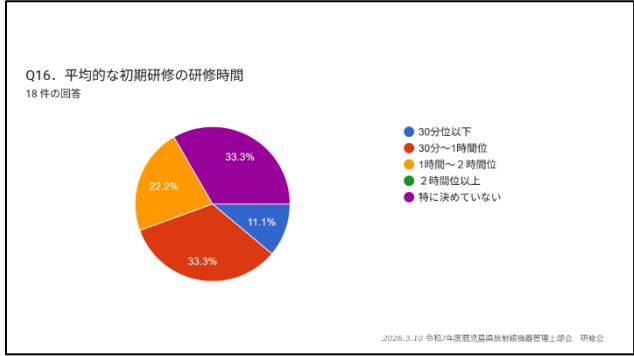
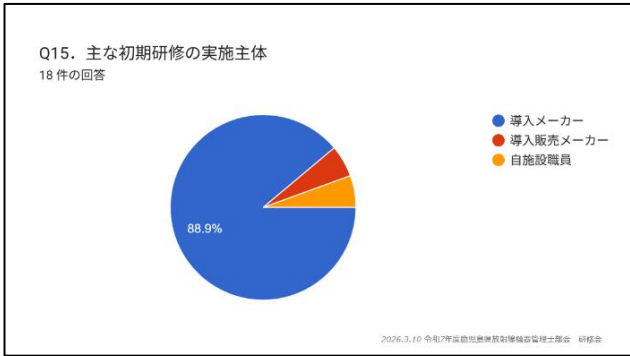
医療安全部門と連携している施設数
 ・ 300床以上 1/3 件
 ・ 100~299床 6/11 件
 ・ 20~99床 3/3 件
 ・ 19床以下 0/1 件

2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

どのように医療安全部門と連携しているか具体的内容をご記入ください。

- ・ 機器・装置保守点検実施表（医療機器管理者押印）の回覧。CT、MRI、リニアックにつき、修理・点検報告を都度回覧している。シミュレーションの実施など。
- ・ インシデント等で起こった事例、または起こりうる事例を専門の部署によって、指摘してもらったり、改善につとめたりしている。起こりやすい事象などは、再発しないように対策を講じている。
- ・ 月1回ミーティングがある。
- ・ 医療機器全体の定期点検やスポット点検や不具合や故障の発生や修理対応時の、外部業者が対応したことも含めて毎月末に報告している。
- ・ 医療機器の関するインシデントなどで、医療安全部門からの不具合調査や研修会開催依頼、学会等治療指針の変更や安全面を考慮した新規医療機器購入時の選定など連携している。
- ・ 医療安全管理委員会の下部組織として、機器の不具合等を早期に報告して患者への影響軽減につなげている。
- ・ トラブル等があった際に報告を行なっている。

2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会



まとめ (初期研修に関して)

今回、県内医療施設の医療機器新規導入時における初期研修体制の実態調査を行った。18の医療施設 (大規模病院:3,中規模病院:11,小規模病院:4) から回答の協力が得られた。

- 実施主体はメーカー主導が多く、自施設主体での体系的運用は限定的であった。
- 実施内容は、ほとんどの施設は医療機器に関するインシデントを把握しているが、初期研修に生かしている施設は8施設であった。また、医療安全部門と連携している施設も10施設であった。
- 記録管理は、医療機器管理ソフトを使用している施設が2施設、自施設様式で整備している施設が5施設あった。一方、記録未整備の施設も認められた。
- 保健所の医療監視時の医療機器管理の確認は、11施設にとどまった。
- 日本医療機能評価機構の医療機器管理の確認は、研修未受講者への対応、医療安全部門との連携等、より一歩進んだ管理を求められることが分かった。

2026.3.10 令和7年度鹿児島県放射線機器管理士協会 研修会

第 31 回 鹿児島 MRI 研究会 開催報告

鹿児島大学病院 大塚 洋和

第 31 回鹿児島 MRI 研究会は、令和 8 年 3 月 11 日（水）18:30 より Web 配信で開催されました。今回は AI をテーマとしてメーカー講演ならびに施設発表の以下のプログラム構成にて行ない、県内外から 60 名の参加がありました。

- 開催日時 令和 8 年 3 月 11 日（水）18:30 ～ 20:00
- 場所 Web 開催

【内容】

1. メーカー講演 18:30～19:00 座長 鹿児島医療技術専門学校 迫田 和也
『SwiftMR - 既存 MRI 装置を最大性能へ導く画質向上技術』
AIRS Medical Japan 川口 翔平
2. 施設発表 19:00～20:00 座長 鹿児島大学病院 大塚 洋和
テーマ【他施設の AI 再構成法の運用実情を教えて】
 1. 今村総合病院（Philips ユーザー） 西田 崇友
 2. 大井病院（SIEMENS ユーザー） 副島 恭平
 3. いづろ今村病院（Canon ユーザー） 白石 真樹

メーカー講演では、AIRS Medical Japan の川口翔平氏が「SwiftMR - 既存 MRI 装置を最大性能へ導く画質向上技術」と題し、最新の AI を用いた MR 画像再構成技術について講演されました。SwiftMR は撮像メーカーを問わず、AI 再構成技術を可能とするサードパーティー型の画像再構成技術になります。最新の MR 装置でなくとも AI による画像再構成を可能とし、どの撮像シーケンスにもほぼ対応可能しているとのことでした。講演の中では、県内施設でのテストスキャン画像を実際に SwiftMR 処理した画像を供覧させていただき、SwiftMR による画質改善の高さに驚かされました。

また、施設発表では、今村総合病院の西田崇友技師、大井病院の副島恭平技師、いづろ今村病院の白石真樹技師の 3 名に「他施設の AI 再構成法の運用実情を教えて」をテーマに講演していただきました。西田技師からは Philips 社の AI 再構成技術についてお話しいただき、AI による画質向上の恩恵により検査時間が短縮したとのことでした。特に肘関節において、従来の Surface コイルでの撮像からパラレルイメージングが併用できる四肢専用コイルに変更し、高分解能 AI 再構成を用いた画像にて代用可能とのことでした。技師間のスキルが出やすい Surface コイルでのポジショニングによる検査時間の差も減少し、大きく検査時間が短縮したと報告されました。副島技師からは SIEMENS 社の AI 再構成技術についてお話しいただきました。頭部の検査時間短縮はもちろんのこと、脊椎撮像において動きや痛みのある患者の T2 をすばやく撮像したい場合に、AI 再構成を併用した HASTE シーケンスが有用であるとの報告がありました。AI 再構成と single-shot の T2 シーケンスとは相性が良いため、蠕動運動の動きのある骨盤領域においても役に立つとのことでした。白石技師には、Canon 社の AI 再構成の運用実情について講演いただきました。AI 技術を高分解能化もしくはノイズ低減に用いるかの選択について頭部シーケンスごとに説明いただき、また検査スループット向上するために AI を用いたカメラによる位置合わせ機能や撮像のアシスト機能についてもお話しいただきました。多くの質疑応答を交えたのち、大変盛況のうちに終了しました。

AI 再構成技術は MRI 検査時間の短縮に貢献していることを再認識し、MRI 検査の長い検査時間というイメージが少し払拭できるのではないかと期待する内容でありました。

鹿児島 MRI 研究会では、来年度は現地開催を行ないます。懇親会も設定し、県内の MRI 担当者間での交流や情報共有の機会を再び広げていくこと、そして磁気共鳴専門技術者の認定研究会となれるよう目指しています。次回以降も多くの参加を得られるよう、引き続き充実した会の運営に努めていく予定です。

【開催の様子】

メーカー発表

施設発表

施設発表の様子とスライド

代表世話人：鹿児島大学病院 大塚 洋和

世話人：いまきいれ総合病院：池田 真一、浮田 啓一郎 / 南風病院：高田橋 司

鹿児島市立病院：池田 政美 / 鹿児島医療技術専門学校：迫田 和也

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和7年度第4回常務理事会議事録(抄)

日時 令和8年3月2日 18時00分～20時45分

場所 Web開催(Webex)

出席理事：(Web会議システムを通じての出席)

大迫 俊一・渡邊 義治・恵 智徳・市來 守・
木原 悠太・藤崎 誠・東 幸浩・米重 亮馬・
木場 淳

欠席理事：なし

議長 会長:大迫 俊一

開会:議長により令和7年度第4回常務理事会の開催が宣言された。

第1号議案

各常務理事より次回理事会議案について協議事項がないか確認を行った。

1, 会長

(1) 期末監査の日程について

今年度の期末監査の日程について、会報発送と総会日程を考慮し、2026年4月22日(水)に実施予定であることが報告された。同日は、常務理事会も予定されていることが合わせて周知された。期末監査の日程については、米山監事に確認・了承いただいております、太田原監事は確認中であることが報告された。

(2) 第2回日本放射線医療技術学術大会(JCRTM)について

第2回JCRTMの日程と開催地が決定し、2028年10月6-8日に新潟県で開催予定であることが周知された。

(3) JART 情報システム(JARTIS)の更新について

2026年6月から、JARTISの会員情報システムが新しくなることが周知された。

(4) 告示研修にて使用した物品について

日本診療放射線技師会(JART)より、告示研修で使用した物品は各県で廃棄し、廃棄に要する費用はJARTが支出するとの通知があった。鹿児島県診療放射線技師会の方針としては、会場を提供いただいた鹿児島医療技術専門学校へ備品提供することを検討したいとの意向が周知された。

(5) 第42回日本診療放射線技師学術大会(JCRT)について

2026年に山形で開催される第42回JCRTについて、演題登録募集中であることが周知された。また、2026年4月から参加登録が行えることも合わせて周知された。

(6) JART80周年記念式典の日程について

JART80周年記念式典の日程について、2027年7月3日もしくは2027年6月26日に開催予定であることが周知された。

(7) 会費に関する規程(会費の免除)の改定について

会費に関する規程の改定について、2点協議事項として提示があった。

①「出産及び育児について」の項目について、現在の文章は、配偶者の読み取り方が個人によって異なる文面となっている。また、免除期間が2年となっているため、毎年申請が必要となる可能性について問い合わせがあることが課題として提示された。期間についてはJARTに合わせることとなり、本件についての文章改定は行わず、「毎年の申請不要」という文面を理事会の議事録に残して周知することとなった。

②「災害に被災したもの」の文面が曖昧であり対象者が広域になることが指摘された。水害の場合は、JARTの免除は床上浸水のみであることを考慮し、「JARTのルール・申請基準に準ずる(仮)」として修正することが提案された。

また、「罹災証明書がある場合を適応とする」など追記することも検討することが周知された。

(8) 鹿児島県放射線治療技術研究会の加入について

2026年度より、鹿児島県診療放射線技師会の研究会として鹿児島県放射線治療技術研究会が参入することが周知された。鹿児島県放射線治療技術研究会は、世話人が11名と多く、非会員や県外(大阪)の世話人も在籍していることが報告された。世話人の人数については上限を定めていないため参加理事により問題がないとのことが承諾された。また、大阪の世話人については、関西地域の研究会から交通費等の支援があるため、鹿児島県診療放射線技師会としての負担や申請はないことが周知された。

(9) 鹿児島県診療放射線技師会会報のアーカイブについて

鹿児島県診療放射線技師会会報の過去20年分のアーカイブについて、PDFファイルとしてホームページ上で閲覧できるようにするとの意向が周知された。

(10) 大島地域研修会について

2026年2月14日に開催された大島地域研修会について、大迫会長と渡邊副会長が参加してきたことが報告された。参加者は会長と副会長を除いて2名であり、大島地域での横の繋がりが薄くなっているとの報告であった。2026年5月開催の総会に元理事に現地参加していただくことも検討しており、次回の理事会で承認をいただくことが周知された。

また、大迫会長より、地域研修会については地域によって熱量に差がある印象があり、今後の方針として福利厚生を活用して活性化していきたいとの意向が周知された。

2, 副会長(渡邊)

特になし

3, 総務理事

特になし

4, 財務理事

(1) 次年度予算書(案)について

次年度予算案について、木原財務理事より報告があった。収入として、前年度会員数 640 名で算出していたものを 650 名で算出していることが報告され、費用については、3 回の会報発行を含めて算出しており、福利厚生費の増額も含めていることが報告された。費用の特記として、屋部理事の会計セミナー参加費を計上したこと、南薩地域のパソコン費用として 20 万円を計上したことが報告され、詳細については、次回理事会で報告することが周知された。また、理事が保有する支給パソコンについては、引継ぎ等を考慮して今後 SSD 管理への移行を検討することが大迫会長より周知された。

(2) 次年度の寄付および協賛に関して

次年度の寄付および協賛について、木原財務理事より令和 7 年度は、つながるおもい、ピンクリボンの協賛金各 1 万円、鹿児島県公衆衛生協会 賛助会員年会費 3 千円を拠出したが、令和 8 年度も同様でよいか確認があった。大迫会長より、同額で行う方針であることが周知された。

(3) 令和 8 年度(2026 年度)支払いに関する事前承認

令和 8 年度(2026 年度)支払いに関する事前承認について、木原財務理事より、令和 8 年度分ホームページ利用料と岩重公認会計事務所顧問料に関して、今年度支払額が提示され、次年度の支払いに関して説明があった。内容について大迫会長より承認され、次回理事会で報告することが周知された。

(4) 資金調達および設備投資の見込み書類の提出について

第 14 期(令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)の資金調達および設備投資の見込みについて木原財務理事より報告があった。

① 資金調達の見込みについて

第 14 期(令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)中に資金調達の予定はありません。

② 設備投資の見込みについて

第 14 期(令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)中に設備投資の見込みはありません。

5. 学術理事

(1) 研修会、研究会報告

2025 年 12 月から 2026 年 2 月末までに開催された研修会と研究会について文面での報告があった。該当期間で開催された研究会と研修会は、令和 7 年度第 3 回告示研修、第 63 回鹿児島 CT 研究会、第 80 回鹿児島消化器画像研究会、令和 7 年度大島地域研修会、令和 7 年度鹿児島さくら RT 研修会、令和 7 年度北薩地域研修会であることが報告された。

(2) 研究会等開催申請の学術業務の流れ及び振分け(案)

研究会等開催申請の学術理事業務について、大迫会長と藤崎誠理事より、研究会等の起案書受付から公文書発行、出席証と領収書の発行、報告書受付から広報理事への送付についての業務フローが提示された。教務フローの各業務を担

当で分担して行うか、一連の手続きを研究会毎に担当を割り振って行うかについては、次回の理事会で再度提案し承認をいただくことが周知された。研究会毎に担当を割り振る場合について、藤崎誠理事より、学術担当 6 名の割り振り案も合わせて提示された。また、大迫会長より学術業務に関するメールでの報告や連絡は、学術担当メールを活用して行うことが推奨された。

(3) 新・フレッシュャーズセミナープログラムについて

新・フレッシュャーズセミナープログラムについて、現在 Web で行われている説明会の報告が大迫会長よりあった。Web 説明会は、全 11 回開催を予定しており、3 月 2 日現在、3 回目が行われたことが周知された。内容としては、新しいフレッシュャーズセミナーは、入会促進のイベントとして行われ、今までの内容の開催も可能であり、新旧の同時開催も可能、ハイブリッド開催も可能とのことであった。また、資料については JART が準備するが、県独自の作成も可能であるとのことであった。開催実施の可否については、各県に任せる方針であり、会員情報システムからのイベントを立てる必要はないとのことであった。新プログラムは講師不要なため、JART から謝金・交通費は出ないが、旧プログラムを行う場合、開催申請が必要となるが、謝金・交通費を JART が支出できるとのことであった。旧プログラムの内容(エチケットマナー・医療コミュニケーション・医療安全・感染対策)については、e ラーニングで研鑽できるとのことであった。学術カウントの付与はなく、修了証書は新・旧いずれも発行しないとのことであった。都道府県内の医療施設に対して郵送により広報する場合、郵送料(1 施設 110 円以内)は引き続き JART が負担するとのことであり、入会パンフレット・粗品(中身未定)はこれまで通りもらえるとのことであった。

会議中の質疑として、各モダリティについての担当者からの説明とトピックス紹介など独自に作成して良いとの回答があった。また、新プログラムでは、交流するゲームやグループワークがメインになる(他者紹介やナサゲーム、KYT(危険予知トレーニング)など)ことが説明されており、鹿児島県としては、新プログラムのみの開催で進める意向であることが報告された。

大迫会長からの提案として、新プログラムは、毎年 6-7 月に土曜日半日(午前)コースで開催し、昼から鹿児島地域研修会・もしくは研究会紹介などを行い、夜は懇親会を行う構想が提示された。会場として、相良病院(駐車場次第)・国際交流センター(市立病院跡地)を検討していることが報告された。

内容として、ゲーム感覚で景品ありのプログラムを考案し、お菓子を食べながら入会促進を行う方針が提示された。また財務担当へ、予算の補助が可能であるか確認が行われた。

本件については、次回の理事会にて、意見を集う予定であることが周知された。

(4) 令和 7 年度リーダー研修会について

令和7年度リーダー研修会について、多くの事前参加登録をいただいていることが周知された。

6, 福利厚生理事

(1) 福利厚生事業の対象について

前回理事会にて木佐貫理事より質問があった内容として、公益社団法人の福利厚生事業の対象として、対象を家族まで拡大して計上することは可能であることが大迫会長より報告された。

(2) 新年会・懇親会の減額について

前回理事会にて藤崎(拓)理事より、新年会・懇親会についての提案があり、大迫会長と木原財務理事より、目的を持った交流会であれば最大半額の補填が可能であるとの回答があったが、減額する際の理由付けについても確認が取れたことが大迫会長より報告された。

(3) 令和7年度の福利厚生事業について

令和7年度の福利厚生事業として計画していたボーリング大会について、大迫会長より日程の都合により今年度は延期とすることが周知された。

7, 編集・広報理事

(1) 会報誌第145号の発行スケジュールについて

会報第145号の発行スケジュールについて、米重編集・広報担当より報告があった。会報第145号は、総会2週間前である5月15日(金)には手元に届く日程で進める方針であることが周知され、4月10日(金)を原稿締め切り、編集作業と各理事による現行訂正確認を実施後、4月22日(水)に印刷会社へ原稿入稿と見積もり依頼を実施し、4月23日(木)より、見積もり確認及び3役最終許可、4月27日(火)に試し刷り最終確認、印刷・発送依頼を行い、5月11日(水)に会報を発送し、5月15日(金)に会報が手元へ届くというスケジュールが報告された。

総会資料についても同じ日程で行えるように調整することが合わせて報告され、期末監査の日程についても、22日で財務としては対応可能であることが報告された。

会報第145号は、総会資料・研究会報告などが中心となり、メーカー広告16社に増える予定(アクロバイオ・アイメディカルなど)であることが周知された。ページ数が確定すれば見積りが取れることが再度周知された。巻頭言については、渡邊副会長が執筆することが周知された。

また、検討を行っていた印刷業者(陽文社)の見積りが提示されたことが報告され、陽文社はレイアウトの校正も実施してくれるため金額は高くなることが周知された。印刷業者については、大迫会長より、発行部数が少なくなることや総会資料もWEB参照になることを考慮して、入校から印刷までは非常に早い(ただし、送付が手作業)、イースト朝日をもう一度検討することや、ネット印刷(プリントネット)を利用することも提案された。印刷業者については、今後1年かけて検討することが周

知された。その他として、大迫会長から米重編集・広報担当へ、返信用往復はがきについては、会報に同封した方が良いのか別途送付した方が良いのか確認することが依頼された。加えて、次号以降の表紙について、写真を募集するか検討することが周知された。

(2) 技師会ホームページについて

技師会ホームページの求人情報の入力と出力方法について、他県のホームページを参考に更新予定であることが大迫会長より報告された。次回理事会で承認をいただく予定であることが周知された。

8, 表彰理事

JART地域功労賞と30年表彰について、表彰の該当者と連絡を取っていることが周知された。

9, 組織理事

(1) 会員動向について

前回理事会報告以降(2025/12/20~2026/2/27現在)の会員動向について木場組織理事より報告があり、入会2名、再入会0名、退会13名、転入1名、転出0名、勤務先施設情報登録0件、勤務先施設情報変更0件の各処理を行ったことが報告された。2026年2月27日現在、正会員数は630名であることが周知された。

(2) 除籍退会者の再入会申請対応について

除籍退会者の再入会申請対応について報告があった。12月20日に再入会申請があったが福岡県にて除籍退会者であったため、債権回収対象であり弁護士事務所から来年1月に通知がでるためJART事務局では再発行できないとのことであった。債権回収確認後の入会手続き開始となる予定であったがJART側の不備があり債権回収が遅れるとの事で次年度入会希望となったことが報告された。

(3) 県ホームページへの問合せ対応について

県ホームページへの問合せ対応について1件報告があった。内容は、「退会していたつもりでいたが督促状が来た」との問合せであり、調べたところ2年会費未納で除籍退会であり、通知後「正式に退会したい」と再度問合せ来たためJART事務局に確認すると、「債権回収にて納入しても「除籍」の履歴は消えない」と回答であった。その旨を当人へ通知したとのことであった。

(4) 入会申請者の会費納入遅れへの対応について

12月4日に入会申請があった入会希望者が、1月15日を過ぎても会費納入しないため、年度確認し、次年度入会希望となったことが報告された。また、1月15日以降の入会申請者についても、入会年度を確認し次年度入会希望となったことが報告された。

(5) 入会促進について

木場組織理事より、入会促進の一環として技師免許証登録

初年度は「登録済証明書」のみで本登録することについての提案があった。具体例として、組織率の高い宮崎県が提示され、宮崎県では郵送は必要だが、登録済証明書の写しでも可とホームページ上で公開されていることが報告された。加えて、初年後会費減額について、各都道府県技師会ホームページを検索した所、21 都府県で減額していることが確認され、減額の内容については、入会金免除や年会費減額様々であるが、鹿児島県を含めて 25 道府県は減額無しであることが報告された。また、JART 同時入会か地方会のみ入会かを選択している都道府県技師会もあることが報告され、大迫会長より、JART と都道府県技師会は組織が異なる別団体であることが再度周知された。

フレッシュヤーズセミナーの説明会においても、各県の入会案内広報が弱いのではないかと指摘があり、新入会の入会金免除の賛否(フレッシュヤーズセミナーの意見交換会免除など)や JART と県技師会で別々で入会することについて、次回理事会で確認することが周知された。加えて、大迫会長より、入会率を上げるためにどうすればよいか、次回理事会までに検討しておくことが周知された。渡邊副会長より、新卒者のニーズの掘り下げから考える方がよいとの提案があり、入職説明会を専門学校生 3 年生に実施して、条件を初年度入会にするなどの具体例が提示された。大迫会長からは、まずは LINE 登録からはじめてもらうとの回答があり、今後、45 歳未満の若い人たち向けの部会を作りたいとの意向が提示された。

本件についての確認事項として、大迫会長より、JART と県技師会で別々で入会することについての公益財団法人の扱いについて、池田様に確認することと、別々に入会した場合の口座や扱いについて、岩重様に確認することが周知された。

(6)退会申請の期限について

木場組織理事より、次年度会費のクレジット払いの期日を勘案して、退会申請の期限を設けている都道府県もあるとの報告があり、鹿児島県においても対応を検討すべきか今後検討することが周知された。

第2号議案 その他

その他の議案として、第 5 回 理事会日程についての周知が行われ、2026 年 3 月 8 日(日)に開催することが周知された。

閉会

議長より全ての議事が終了し、令和 7 年度 第 4 回 常務理事会の閉会が宣言された。

令和 8 年 03 月 02 日

会 長 大迫 俊一

副会長 渡邊 義治 ・ 恵 智徳

理 事 木場 淳

議事録作成者 理 事 市來 守

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和7年度第5回理事会 議事録(抄)

日時:令和8年3月8日(日)

場所:鹿児島県診療放射線技師会 事務所

(Web会議とのハイブリッド開催)

出席理事:

大迫 俊一・渡邊 義治・恵 智徳・市來 守・
木原 悠太・脇田 慎一・四本 斉・竹尾 晃一・
藤崎 拓郎

(Web会議システムを通じての出席)

熊谷 繁夫・米重 亮馬・元 俊晶・愛下 剛・
東 幸浩・藤村 卓也・本村 克朗・木場 淳・
吉田 紫織・藤崎 誠

出席理事: 屋部 太輔・武宮 太・戸川 憲二・

坂口 右己・木佐貫 克朗

出席監事: 太田原 美郎

議長: 大迫 俊一

開会:議長より理事の過半数以上が出席しており、令和7年度第5回理事会の開催が宣言された。

第1号議案 会長・副会長・各常務理事による活動報告(第16条7項)

会務について大迫会長から説明があった。(別紙1:会務報告参照)

1. 会長

(1) 会費に関する規程の確認・改定について

現在の『会費に関する規程』に記載されている項目について確認が行われた。

まず、『(2)出産および育児のため休職している会員または配偶者期間』について、①「休職期間に係る最長2年度までとする」となっているが、不明確な部分があるため、毎年の提出は不要であるが提出書類に添付された証明書の期間に準じることが確認された。②「会費支払い後の扱い(年度内に免除期間開始日が来ている場合)」について、翌年度からとすることが確認された。③「配偶者(男性会員)の期間」について、本人の育児休暇証明書があれば、その期間に準じる(期間によらず1年)が、育児休暇証明書がなくても配偶者(妻)の出産証明書があれば1年間は認めることが確認された。次に、『(4)災害に被災した者』について、対象者に関して明確な基準がないことが確認された。JARTには、災害の程度に応じて会費免除の期間がある事が周知され、今年度の事例として2025年8月の台風12号による大雨の被害に関する説明があり、2名の対象者について報告があった。①基準をどうするかについ

て、床上浸水についてはJARTに準ずる形にするが、JARTは床上浸水に関しては対象外となっているため、床下浸水については罹災証明を得た後の理事会の承認を得てから判断とする方針で承認された。今年度の床下浸水で罹災した2人については、本人の意思を確認して返金等の対象とすることについても承認された。②基準に関する規程の記載については、今回の理事会の内容を元に『別紙:新旧対照表 会費に関する規程』の通り変更する事となった。以上、会費に関する規程の確認・改定に関し、出席理事全てが同意し承認された。

(2) 会報の電子化について(続報)

令和7年度第4回理事会において会報第143号のアンケート結果の追加報告として、会報第144号にてアンケート(2次元バーコード)を行った結果の報告があり、「会報の発刊についての連絡について」(2件)と「過去の会報誌のアーカイブ化に関する要望」(1件)の計3件の意見があったとの報告であった。また、前回のアンケート結果を合わせて会報の電子化するにあたり以下の内容について協議を行った。①「会報の発刊についての連絡」については、県技師会ホームページとLINEによる通知にて広報を行うことが確認された。②「過去の会報誌のアーカイブ化」については、過去の会報もホームページで確認ができるようにアーカイブ化を進めていくことが周知された。③「紙面による会報希望者」については、紙面会報希望者にはこれまで同様発送することが改めて周知され、ホームページ上に紙面と電子発行を変更可能なページを作成することが周知された。④「会報のカラー化」については、電子会報に関してはフルカラーにし、紙面会報は従来通りで行う方針が周知された。⑤「情報発信頻度を増やす」については、電子化するにあたり会報のみに掲載していた研究会開催報告などをホームページ・LINEでも案内することが周知された。次年度については、次回5月に発刊予定の会報(総会号)に関しては、これまで同様の紙面とし、秋発刊の会報から電子化することが周知された。以上、会報の電子化に関し、出席理事全てが同意し承認された。

(3) 鹿児島県放射線治療技術研究会 加入について

鹿児島県放射線治療技術研究会より結成申請書・研究会会則について提出があった。代表世話人は、鹿児島大学病院奥様であり、最新情報共有を目的とした講演会、発表会を中心とした年1回位の研修会を開催することが周知された。また、鹿児島県放射線治療技術研究会は大阪の「放射線治療かたろう会」から世話人が参加しているが、費用については関西側で負担されていることが周知された。以上、次年度から加入する方針について出席理事全てが同意し承認された。

(4) 令和8年度年度事業計画(案)について

次年度の事業計画について報告があり、新規の事業計画として、ホームページに加えてLINEの活用促進について追記

があり、次年度の秋季学術大会は大隅地域で開催する事の報告があった。本理事会の協議にて、関連団体との連携の項目のうち、告示研修と業務拡大に伴う統一講習会の実施が事業計画案から削除された。以上、次年度事業計画(案)について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

(5) 令和7年度 JART 第6回理事会資料より報告

令和7年度 JART 第6回理事会資料の報告として、①第2回 JCRTM は新潟開催となる予定であり、会期は2028年10月6日～8日の3日開催であること、②2026年6月から会員情報システムが新しくなり、機能が增える予定であるが、現在検討中であること、③JART の80周年記念式典は2027年7月3日もしくは6月26日に開催予定であることが報告された。

2, 副会長

特になし

3, 総務

公文書発行一覧について、別紙資料を元に大迫会長から説明があった。別紙2:公文書発行記録参照

4, 財務

(1) 次年度予算書(案)について

次年度予算案について、木原理事より報告があった。収入として、今年度・前年度の実績を勘案して前年度会員数640名で算出していたものを650名で算出していることが報告され、費用については、旅費交通費・通信運搬費・消耗品を前年度実績から減額し、福利厚生費の増額と3回の会報発行を含めて算出していることが報告された。費用の特記として、屋部理事の会計セミナー参加費(年4回開催され、1回あたり16000円に資料代等を含む)を計上したこと、南薩地域のパソコン費用として計上したことが報告された。大迫会長より、故障により新規購入予定であった南薩地域には総務パソコンを譲渡したことが報告された。また、各理事の会務において、今後は短期保管用SSD(IT程度)とGoogleドライブ(長期保管用・バックアップ)を利用することが大迫会長より提案された。以上、次年度予算書(案)について協議を行い、出席理事全てが同意し承認された。

(2) 次年度の寄付および協賛に関する事前承認について

次年度の寄付および協賛について、令和8年度は令和7年度同様に、つながるおもい、ピンクリボンの協賛金各10000円、鹿児島県公衆衛生協会 賛助会員年会費3000円を拠出することについて、出席理事全てが同意し承認された。

(3) 令和8年度支払いに関する事前承認について

令和8年度(2026年度)支払いに関する事前承認について、令和8年度分ホームページ利用料と岩重公認会計事務所顧問料の今年度支払額が提示され、次年度の支払いに関して説明があり、出席理事全てが同意し承認された。

(4) 資金調達および設備投資の見込み書類の提出について

第14期(令和8年4月1日～令和9年3月31日)の資金調達および設備投資の見込みについて報告があった。

①資金調達の見込みについて:第14期(令和8年4月1日～令和9年3月31日)中に資金調達の予定はありません。

②設備投資の見込みについて:第14期(令和8年4月1日～令和9年3月31日)中に設備投資の見込みはありません。以上について、出席理事全てが同意し承認された。

5, 学術

(1) 新・フレッシュャーズセミナープログラムについて

新・フレッシュャーズセミナープログラムについて、現在Webで行われている説明会の説明と報告が大迫会長よりあった。概要として、新・フレッシュャーズセミナーは、講師不要の新形式(JART 提供動画+ワークショップ等)と、従来形式の選択が可能となるが、学術カウント及び修了証の発行はないとのことであった。大迫会長の方針としては、午前中にセミナーを実施し、午後は地域研修会を開催、夜に懇親会を行う流れを検討することであった。審議事項として、土曜日勤務がある施設への配慮や、JARTからの金銭的支援(運営補助)についての確認、フレッシュャーズセミナーと並行して20-30歳代を対象とした若手部会の設立の検討などが協議された。以上、新・フレッシュャーズセミナープログラムについて、出席理事全てが同意し、プログラムについては検討する方針で承認された。

(2) アーカイブ配信案内方法について

会員への情報発信の機会を増やすため、2026年1月に実施された第63回鹿児島CT研究会から鹿児島県診療放射線技師会のホームページ上で、アーカイブ配信を開始することが報告された(発表者の承諾済み)。アーカイブ配信は、会員サイトへの掲載のみとし、今後リーダー研修会なども随時発信していくことが報告され、アーカイブはデータ容量に制限があるため、配信期間や配信数を定期的に管理する必要があることが周知された。また、情報発信を円滑に行うために、LINEの登録を推進することも周知された。以上について、出席理事全てが同意し承認された。

【研究会等開催報告】

令和7年度 第3回 告示研修

日時:令和7年12月7日(日)8:30～17:30

開催地:鹿児島医療技術専門学校

参加者:33名(会員19名、非会員14名)

第63回 鹿児島CT研究会

日時:令和8年1月31日(土)14:30～17:00

配信元:鹿児島市立病院 大会議室/ハイブリッド

参加者:70名(会員70名)

内容:特別講演、会員発表:5演題

第80回 鹿児島消化器画像研究会

日時:令和8年2月4日(水)18:30~20:00

配信元:南風病院/Web

参加者:35名(会員34名、メーカー1名)

内容:メーカー情報提供・レクチャー・症例検討

令和7年度 大島地域研修会

日時:令和8年2月21日(土)14:30~17:00

開催地:県立大島病院/現地のみ

参加者:13名(会員11名、メーカー2名)

内容:メーカー話題提供、特別講演、

会員発表:2演題

令和7年度 鹿児島さくらRT研修会

日時:令和8年2月26日(木)19:00~21:00

配信元:相良病院/Webのみ

参加者:68名(会員59名、非会員9名)

内容:話題提供:2演題、特別講演

令和7年度 北薩地域研修会

日時:令和8年2月28日(土)14:00~17:30

開催地:済生会川内病院/現地のみ

参加者:34名(会員26名、非会員8名)

内容:情報提供、教育講演、会員発表:4演題

令和7年度 リーダー及びリーダー育成研修会

日時:令和8年3月4日(水)19:00~20:30

配信元:相良病院/Webのみ

参加者:43名(会員43名、非会員0名)

内容:特別講演

令和7年度 第47回 南薩地域研修会

日時:令和8年3月7日(土)15:00~18:00

開催地:前原総合病院/ハイブリッド

参加者:30名(Web参加9名、会員23名、メーカー4名、
一般2名、その他コメディカル1名)

内容:会員発表:2演題、メーカー講演:2演題、

特別講演

・各研究会から出たご意見

特になし

6, 福利厚生

技師会ホームページの求人情報の入力と出力方法、ホームページ上の県技師会誌のアーカイブの閲覧方法について、他県のホームページを参考に更新予定であることが大迫会長

より報告された。求人情報の掲載料については、軌道に乗るまでは無料で対応することが合わせて周知された。以上について、出席理事全てが同意し承認された。

7, 編集・広報

会報第145号の発行スケジュールについて、総会2週間前である5月15日(金)には手元に届く日程が提示され、4月10日(金)を原稿締め切り、編集作業と各理事による現行訂正確認を実施後、4月22日(水)に印刷会社へ原稿入稿と見積もり依頼を実施、4月23日(木)より、見積もり確認及び3役最終許可、4月27日(火)に試し刷り最終確認、印刷・発送依頼を行い、5月11日(水)に会報を発送するスケジュールが報告された。以上について、出席理事全てが同意し承認された。

8, 表彰

特になし

9, 組織

(1)免許証取得初年度入会申請時の技師免許証確認

入会申請時の技師免許証確認に関して、他県を参考にし、免許証取得初年度に関しては「登録済証明書」でも認めることについて、出席理事全てが同意し承認された。また、照合で用いている免許証画像について、保存期間について定款、規定等には定められた規則はないことが確認され、写真と実際の登録番号の照合は、組織理事で確認のみで使用していることから、公益監査の懸念もあるが、照合後の免許証画像は保管しない方針で出席理事全てが同意し承認された。

(2)県技師会のみ入会について

JARTの会員推移について大迫会長から報告があり、若手の退会が増加していることを受けて、JART非入会者でも県技師会のみ入会を認めるかについて協議が行われた。課題として、既存会員のJART退会促進につながる恐れや、JARTISを利用できないことによる名簿管理・会費徴収(債権回収)の業務負担が増えること、九州地域学術大会負担金等の整合性をとる必要があることが挙げられた。以上、県技師会のみ入会申請について、出席理事の同意は得られたが、大迫会長が九州会長会議の際、九州地域の意向を確認し決定することで、会長一任となった。また、その結果は全理事に周知するとの事であった。

(3)退会申請の期限について

木場理事より、次年度会費のクレジット払いの期日を勘案して、退会申請の期限を設けている都道府県もあるとの報告があった。協議の結果、鹿児島県においては退会手続等を踏まえて可能な限り2月10日を目安に退会申請の期限とし、会報に加えて、ホームページにも掲載し周知を徹底することで、出席理事全てが同意し承認された。

(4)報告事項

①除籍退会者の再入会申請対応について:除籍退会者の再

入会申請対応について報告があった。除籍退会した他県の債権回収確認後の入会手続き開始となる予定であったが JART 側の不備があり債権回収が遅れるとの事で次年度入会となったことが報告された。②県ホームページへの問合せ対応について:ホームページへの問合せ対応について1件報告があった。内容は、「退会していたつもりでいたが督促状が来た」との問合せであり、2年会費未納で除籍退会であり、通知後「正式に退会したい」と再度問合せがあり、JART 事務局より、「債権回収にて納入しても「除籍」の履歴は消えない」と回答があったことを当人へ通知したとのことであった。③入会申請者の会費納入遅れへの対応について:12月4日に入会申請

があった入会希望者が、1月15日を過ぎても会費納入しないため、年度確認し、次年度入会希望となったことが報告された。また、1月15日以降の入会申請者についても、入会年度を確認し次年度入会希望となったことが報告された。④他県で除籍になった場合の当県への入会について:福岡県で除籍になった方で、鹿児島県での入会を希望する申請があった。大迫会長より、金額を払っていただけるのであれば、入会を認めることで承認された。また、2025年度の動向として、鹿児島県を除籍になって、次年度再入会するケースもあったことが報告された。

議題 2 会員動向報告(第6条):組織

会員動向(2026年3月5日現在)

年 月	月末会員数	入 会	転 入	転 出	退 会
2024 年度集計	631	48	6	7	30(除籍 6)
2025 年 12 月	642	1	1	0	1
2026 年 1 月	639	1	0	0	4
2026 年 2 月	629	0	0	0	10
2026 年 3 月	626	0	0	1	3
2025 年度集計	626	31	5	10	31

※転出申請中 1 件

議題 3 その他

(1) 今後の予定について

2026年度の総会・春季学術大会の日程について、2026年5月31日(日)に 鹿児島市立病院で開催するとの提案があり、異論なく日程・開催場所が決定した。

(2) 各理事より報告・審議

① 藤崎拓郎理事より、地域研修会等における発表・講師を依頼した業者の参加費について相談があり、大迫会長より、発表や講師を依頼した場合は、参加費不要であるとの意向が示され、次回理事会までに方針を決めるとの回答であった。②大迫会長より、次年度以降の懇親会の個人負担金について、入会促進と20歳代～30歳代の退会者が多いことを懸念して、極力若い方へ還元できるように県技師会から一部を支援していきたいとの意向が提示された。③脇田理事より、夜間急病センター研修について、次年度は、鹿児島地域・リーダー研修会・メーカー講演の3回を予定しているとの報告があった。④大迫会長より、今年度の福利厚生事業で予定していたボーリング大会と、鹿児島地域研修会について今年度は延期する方針が周知された。⑤熊谷理事より、2026年6月でサービス終了予定のパスマーケットについて、今後の意向についての質問があり、大迫会長より、別の業者で見積りを行った結果、パスマーケットよりも増額となることが把握できているため、次回理事会までに検討し、報告することが周知された。

閉会

議長より全ての議事が終了し、令和7年度第4回理事会の閉会が宣言された。

令和8年03月12日

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

会 長 大迫 俊一

監 事 太田原 美郎

理 事 藤崎 拓郎 ・ 竹尾 晃一

議事録作成者

理 事 市來 守

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 令和7年度第5回常務理事会議事録(抄)

日時 令和8年3月26日 18時30分～20時00分

場所 Web開催(Webex)

出席理事：(Web会議システムを通じての出席)

大迫 俊一・渡邊 義治・恵 智徳・市來 守・
木原 悠太・藤崎 誠・東 幸浩・米重 亮馬・
木場 淳

欠席理事：なし

議長：会長 大迫 俊一

開会：議長により令和7年度第5回常務理事会の開催が宣言された。

第1号議案

各常務理事より次回理事会議案について協議事項がないか確認を行った。

1. 会長

(1) 令和7年度第2回理事会および各県会長会議の報告

2026年3月14日(土)に開催された九州地域放射線技師会の令和7年度第2回理事会および各県会長会議の要点について報告があった。主な内容として、九州地域放射線技師会の令和7年度の収支決算書(案)に関する報告では、今後繰越金を増やさないための対策が協議され、繰越金の使い道として、ホームページ委員の増員、学術委員の各県2名体制への変更、会費を年度ごとに変動制とすることが提案されたとのことであった。

①九州地域放射線技師会学術委員の追加選出について

学術委員を各県2名体制へ変更することについて、現在の学術委員がモダリティの偏りがあるため、各モダリティを均一に選任し、学術大会の採点等の審査を円滑に行いたいとの趣旨が説明された。なお、学術大会の審査委員については、次回の沖縄大会以降は、各開催県から必要な人員を選出し、日当(雑費として3000円)を出す方針であることも合わせて報告された。学術委員の追加の選出期限は第11回FRT九州研修会が開催される7月4日(土)までに選出する必要があることが周知され、本件に関する鹿児島県診療放射線技師会(以下、県技師会)の常務理事による協議が行われた。

協議内容として、選出する学術委員は、県技師会の理事から選任し、可能であれば長期的に理事を続ける予定かつ、現学術委員の藤崎誠理事とは異なる施設から選任することが提示され、可能であれば現在欠員となっている放射線治療の分野からの選出が望ましいとの方針が示された。適任者への相談や協議については、次回の理事会で行うことで参加した常務理事の承認が得られた。

②会費の変動制移行について

会費を変動制に変更することについて、九州地域放射線技師会の意向としては、変動額については繰越金の状況で年度毎に変えていく方針であることが報告された。また、鹿児島県以外の他県では積立金として会員への徴収を行っていないことと、会費を変動制とするのは、2027年度以降であることが合わせて周知され、本件に関する県技師会の常務理事による協議が行われた。

協議として、県技師会の会費徴収は、九州地域学術大会負担金として500円徴収することを明記しているため、変動制に移行することと年度ごとの変動金額については会報等を通して会員へ伝えることが重要であることや、年度末の時期に変動金額の確認が必要となり、財務業務が煩雑になる可能性が危惧され、会費の変動制移行に関する周知の有無を九州地域放射線技師会に確認し、その周知内容を加味して、当県としてはそのまま7500円徴収して、費用に関する規定を「学術大会負担金を含む」へ修正する案が提案された。本件については、継続審議として九州内の他県の内容や動向を踏まえて今後検討することで常務理事の承認が得られた。

③その他報告事項

九州地域放射線技師会の令和7年度第2回理事会および各県会長会議で挙げたその他の報告事項として、令和8年度九州地域放射線技師研修会が鹿児島県で開催されるため意見交換会の会場を決めること、第11回FRT九州研修会(福岡開催)についてはFRTの代表が宮崎県の甲斐様が代表になる予定であること、令和8年度九州地域放射線技師会の役員が改選され、今回の任期は宮崎県中心で動く予定であることが報告された。また、前回理事会で報告された業務拡大に伴う統一講習会の備品の扱いやJART会員情報システムの更新においてメーリングリストを各県で使えるようになること、JARTの退会について、退会ボタンを押せば、年度内退会で処理できることについて改めて説明があった。

(2)原子力防災時医療ネットワーク検討会の報告

2026年3月17日(火)に開催された原子力防災時医療ネットワーク検討会についての報告があった。情報共有事項として、原子力防災訓練において、サーベイで靴底を調べる際に、片足を浮かせると立位が不安定になるため、つま先が地面に着いた状態で靴底を見せるようにすることを周知するよう指導があったことが挙げられた。本件については、次回以降の原子力防災訓練で周知する方針で常務理事の承認が得られた。

(3)県技師会のみ入会に関して

令和7年度第5回理事会で協議された、県技師会のみ入会について、大迫会長より、2026年3月14日(土)に開催された各県会長会議で聴取した内容の報告があった。

報告内容として、JARTの意向としては、県技師会のみ入

会について後押しするほどの積極的に推奨はしていないが、ルールとしては行っても良いとの認識であることが周知された。また、九州内他県の現状として、多くの他県では県の技師会のみの入会はないとの状況が報告された。加えて、以前まで県の技師会のみを入会を認めていた県の理事より、会費を手渡しで行うなど、常駐の事務員を要するほど業務が多忙であったため廃止としたとの具体例の報告があった。本件について、県技師会の常務理事による協議が行われた。

質疑として、県技師会のみを入会を認めた場合、JART の会員番号がなく、JARTIS の情報もない県会員を確認する方法について意見があり、退会申請の際、選択肢として所属都道府県技師会は会員を継続するとの選択が可能であるため、退会申請の場合であれば、学術と組織は退会申請書類から県技師会のみを会員を確認する事が出来るとの回答があった。また、JART から申請に関するメールが届く理事においては、未納・退会処理(JART のみ、都道府県継続など)については確認することができるとのことであった。

また、今年度の退会申請にて、JARTIS 上の退会する組織の選択を「日本診療放射線技師会のみ退会する(所属都道府県技師会は会員を継続する)」と選択した事例があったことについて経緯の説明があり、鹿児島県が現状県技師会のみを入会について対応するシステムが確立されていないため、本人の意向を確認して退会取消処理を行ったことが報告された。この事例を踏まえた意見として、県技師会のみ残留する場合の手續きとシステムを確立する必要があること、JARTIS の情報が退会と同時に削除されるため、組織で管理するシステムを構築する必要があること、県技師会の会員名簿を作る必要があることなど具体的な提案があった。加えて、県技師会のホームページの名簿運用を利用して、県技師会のみを管理することについて提案があり、県のみを技師管理については、財務・組織の双方の業務を行う必要があるため対応するための理事を増員することについて提示された。その他の懸念事項として、県技師会のみを入会を認めることで JART のみ退会が増えることを想定する必要があることや、JART から発番される会員番号は再利用されないため、県技師会の会員番号として流用することも検討すべきとの意見があった。本件については、県技師会のみを入会を認めるためには、県のみを会員管理やシステム構築が必要であり、2026 年 6 月以降に JARTIS が新システムに変わることも勘案して、慎重に準備を行う必要があるため、2027 年 4 月からの運用開始を目標として、次の総会までに、「どのような方針で実施していくか」「県独自の会員システムを組み上げていくのか」などの基盤を公示できるよう準備していくことで、常務理事の承認が得られた。

(4)原田学園(鹿児島医療技術専門学校)への祝電について

毎年、原田学園より卒業式や入学式について案内が届い

ており、他の職能団体では列席・祝電等の対応がされていることが報告された。今後、原田学園については入学式に電報を出すことで常務理事の承認が得られた。なお、他県の診療放射線技師教育機関からも卒業式や入学式に関する案内は届いているが、鹿児島県の診療放射線技師会であることを勘案して、鹿児島県内の診療放射線技師教育機関のみを対象とする方針についても常務理事の承認が得られた。

2, 副会長

特になし

3, 総務理事

特になし

4, 財務理事

特になし

5, 学術理事

特になし

6, 福利厚生理事

特になし

7, 編集・広報理事

会報誌第 145 号について原稿の締め切りが 2026 年 4 月 10 日であることが再周知され、会報誌の内容について確認が行われた。会報誌の内容について、大迫会長より、県技師会のみに入会に関する記載の追記・更新を検討していた組織便りについては、前回同様とすることと、協賛メーカーの一覧や年間予定スケジュールについて早期に提出する意向が回答された。

8, 表彰理事

特になし

9, 組織理事

特になし

第2号議案 その他

特になし

閉会

議長より全ての議事が終了し、令和 7 年度 第 5 回 常務理事会の閉会が宣言された。

令和 8 年 03 月 26 日

会 長 大迫 俊一

理 事 木原 悠太・藤崎 誠・東 幸浩

議事録作成者 理 事 市來 守

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会 行事・活動予定

2026年

1月	31日(土)	第63回鹿児島CT研究会	鹿児島市立病院・Hybrid
2月	4日(水)	第80回消化器画像研究会	WEB
	7日(土)	令和7年度鹿児島県原子力防災訓練	さつま町・日吉・長島
	21日(土)	大島地域研修会	県立大島病院
	26日(木)	令和7年度鹿児島さくらRT研修会	WEB
	28日(土)	第34回北薩地域研修会	済生会川内病院
3月	2日(木)	令和7年度 第4回 常務理事会	WEB
	4日(土)	リーダー及びリーダー育成研修会	WEB
	7日(土)	第47回南薩地域研修会	前原総合医療病院・Hybrid
	8日(日)	令和7年度 第5回 理事会・事務所清掃	坂元事務所
	10日(火)	令和7年度放射線機器管理士部会研修会	WEB
	21日(土)	第31回鹿児島MRI研究会	WEB
	26日(木)	令和7年度 第5回 常務理事会	WEB
4月	22日(水)	期末監査	坂元事務所
5月	10日(日)	つながる想い in かごしま	かんまちあ
	28日(木)	予定_第64回鹿児島CT研究会	WEB
	31日(日)	第105回 定時総会及び春季学術大会	鹿児島市立病院・Hybrid
6月	—		
7月	4日(土)	予定_第27回鹿児島県放射線治療技術研究会	今村総合病院
	4日(土)	第11回FRT九州研修会	福岡県(パピヨン24)
	18日(土)	予定_第24回鹿児島県医療情報システム研究会 & 鹿児島県医療画像情報精度管理士部会 (合同開催)	鹿児島市立病院・Hybrid

漏洩線量測定事業のご案内

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会では、放射線を取扱う専門職として資格を有する団体の一般社会への利益還元事業と公益事業の一環として、放射線安全管理の啓発を兼ねた環境測定事業を実施しています。基本的には、当該施設会員と放射線管理士部会からの派遣技師と2名で実施する予定です。法令で規定してある測定はX線検査室の周囲だけではなく敷地内病室、居住区域、敷地境界も測定しなければなりません。その測定方法及び測定値の取扱いについての説明も致します。また、測定事業に併せて施設の放射線管理のアドバイスも行っております。些細な事でもご相談ください。

料金は、会員がいる施設が、基本料金2万円+測定料金1方向5千円、会員がいない施設は基本料金4万円、ただし、歯科医院等の場合は、基本料金は2万円となっています。

ご希望の施設がございましたら、見積等をご提示しますので下記電話メールにてご照会下さい。

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会 放射線管理士部会 担当 藤崎
☎0996-23-4418 (川内市医師会立市民病院放射線課) krt2@kagoshima-rt.jp

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会役員名簿

事務所住所 〒892-0861 鹿児島県鹿児島市東坂元4丁目28-11

2025-2026年度

役職名		氏名	所属
会長		大迫 俊一	相良病院
副会長		渡邊 義治	清泉クリニック整形外科内科
		恵 智徳	今村総合病院
常務理事	総務	市来 守	今村総合病院
	財務	木原 悠太	鹿児島市立病院
	学術	藤崎 誠	南風病院
	福利厚生	東 幸浩	鹿児島医療技術専門学校
	広報	米重 亮馬	鹿児島市立病院
	組織	木場 淳	鹿児島市医師会病院
	表彰	渡邊 義治	(兼務)
理事	総務	恵 智徳	(兼務)
		脇田 慎一	いづろ今村病院
		東 幸浩	(兼務)
		四本 斉	上町いまきいれ病院
		吉田 紫織	相良病院
	学術	愛下 剛	大井病院
		本村 克朗	鹿児島大学病院
		戸川 憲二	メディポリス国際陽子線治療センター
		竹尾 晃一	鹿児島医療センター
		武宮 太	(兼務)
	福利厚生	藤村 卓也	鹿児島医療技術専門学校
	財務	屋部 太輔	米盛病院
	地域理事	鹿児島	武宮 太
南薩		木佐貫 克朗	加世田病院
北薩		藤崎 拓郎	川内市医師会立市民病院
霧島・始良		坂口 右己	霧島市立医師会医療センター
大隅		熊谷 繁夫	昭南病院
大島		元 俊晶	鹿児島県立大島病院
監事		太田原 美郎	明輝会クリニック
		米山 光明	川内市医師会立市民病院(外部)

磁気共鳴診断装置

MAGNETOM Flow.Elite

Empowering you.

www.siemens-healthineers.com/jp

Next generation 1.5T standard

次世代の1.5T MRIに求められる価値を
集約したプラットフォーム

MAGNETOM Flow.Elite は、Deep Learning 画像再構成による高倍速と超解像の両立に加え、タッチレスセンサーや自由呼吸下撮像により、被検者に依らず質の高い結果を提供し、診断精度を高める Diagnostic Accuracy。被検者とオペレーター双方の検査体験を向上させる Comfortability。ヘリウムフリー構造と省電力設計を実現した Sustainability。診断精度と快適性、そして持続可能性を兼ね備えた、次世代 1.5T の新たなスタンダードです。



SIEMENS
Healthineers

超電導磁石式全身用 MR 装置 MAGNETOM フロー エリート 認証番号：307AABZ000042000

Teleradiology

遠隔画像診断 支援サービス

サービス詳細、
お問い合わせ▼



画像診断業務を
サポートいたします。

i Medical

株式会社iMedical

本社：〒102-0074 東京都千代田区九段南2-3-14 靖国九段南ビル8階

ホームページ：<https://imedi.co.jp> TEL:03-3556-6481

Mako

X線QAの最先端ソリューション



最新モデル

幅広いアプリケーション



唯一無二のX線アナライザ「Mako」は
高い精度とシンプルさを兼ね備え
皆様のX線QAを強力にサポートします。

本社：〒160-0022 東京都新宿区新宿2-13-12
Tel. 03-6380-0731 Fax. 03-6380-0751

大阪：〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原5-1-28
Tel. 06-4867-3919 Fax. 06-4867-3935

アクロバイオ株式会社

<https://www.acrobio.co.jp> info@acrobio.co.jp

Canon

Aquilion Rise

臥位・立位・座位での撮影が可能なマルチポジションCT
3体位撮影が新たな臨床価値へ



【一般的名称】全身用X線CT診断装置 【販売名】CTスキャナ Aquilion Rise TSX-402A 【認証番号】306ACBZX00036000

B001246

キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life



DO LESS.

CARE MORE.



MEDRAD® Centargo

CT Injection System

操作の時間は最小限に 患者さんへの思いやりは最大限に
造影検査をさまざまな角度から効率化。より多くの時間を患者さんのケアのために。
それは医療を行う上でとても大切なこと、MEDRAD® Centargoが目指すこれからの検査のかたち。

Clear Direction. From Diagnosis to Care.

PP-M-CEN-JP-0112-19-01

管理医療機器 / 多相電動式造影剤注入装置
販売名 / Centargo CTインジェクションシステム
認証番号 / 302AABZX00091000

製品に関する詳細情報は、各製品の取扱説明書、添付文書をご参照ください。

お問合せ **0120-60-9040**
サービスコール 24時間サービスコール対応

製造販売業者
バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
E-Mail: BYL-RAD-CS@bayer.com



製品の詳細は、
二次元コードから
弊社Webサイトで
ご覧いただけます。



システムに
求められるもの
それは
労力なしで**プラスα**

私たちメディカルクリエイトが、
放射線業務を力強くトータル支援。
4つの管理

RiSMEC
＜診断RIS＞
診断部門の業務全般を管理
予約管理～在庫管理、各種統計、
増影支援、業務管理 etc

RiSMEC-RT
＜治療RIS＞
治療部門の業務全般を管理
予約管理～カルテ管理、Webレポート、
品質管理、データ抽出機能 etc

連携

RiSMEC-DOSE
＜被ばく線量管理＞
医療法施行規則に対応した
被ばく線量の一元管理 PACS連携、
モダリティ連携、データ検索 etc

3mec
＜医療機器管理＞
改訂医療法に準拠した、機器管理
日常点検～保守点検、修理情報、
費用管理、資産管理 etc

＜放射線業務を力強くサポートするシリーズ＞

<https://www.medical-create.com>



株式会社メディカルクリエイト

TEL 082・568・1920 FAX 082・263・1586

〒732-0827 広島市南区稲荷町1-1 ロイヤルタワー5F 営業所(東京・大阪・中四国・福岡・開発センター)

Nemoto

DUAL SHOT
GX10
CT CONTRAST DELIVERY SYSTEM

NEW



販売名: 造影剤自動注入装置 デュアルショット GX10 / 認証番号: 304AHBZX00011Z00

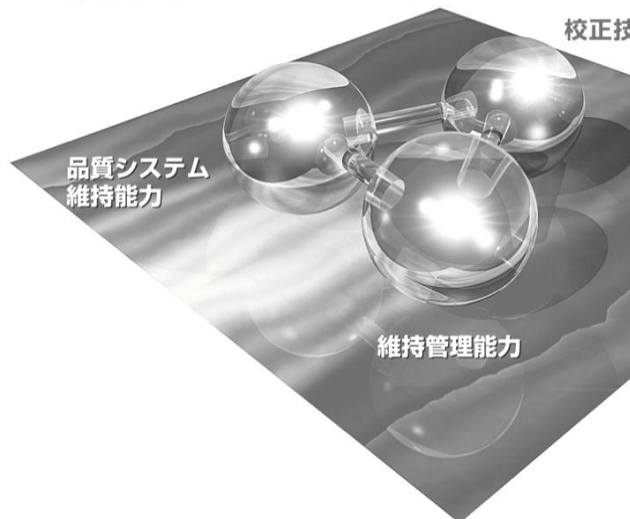
株式会社 根本杏林堂

製造販売元: 埼玉県川口市青木2-12-23 / 販売元: 東京都文京区本郷2-27-20

※本製品の仕様及び外観は予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

お客様へ、正しさに基づく安心を
ご提供いたします。

TECHNOL



品質システム
維持能力

維持管理能力

校正技術能力

年に1回

放射線測定器の校正を済ませましょう

正しい測定、確実な放射線・放射能管理を行うためには、使用する測定器が定期的に校正されている必要があります。弊社大洗研究所は、計量法に基づく、校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の登録業者です。国家標準とトレーサビリティが取れており、信頼性の高い校正サービスを提供いたします。



大洗研究所では、1972年から放射線標準を保有。計量法校正事業者登録制度(JCSS)におけるγ線の校正事業者として登録。また、国際MRA対応認定事業者として、国際相互承認(Mutual Recognition Arrangement)加盟国に通用する認定マーク付きの校正証明書が発行可能です。

●弊社校正サービスは、ISO9001の要求事項(監視および計測機器の管理)に有効に活用できます。

※詳しくは下記までお問い合わせください。

放射線測定器校正サービス(一般校正)

放射線測定器校正

お問い合わせは

株式会社 千代田テクノル

E-mail: ctc-master@c-technol.co.jp

<https://www.c-technol.co.jp>

FLUKE
Bio-medical

LANDAUER

RaySafe

ハイブリッドサーベイメータ

RaySafe 452

半導体式測定器とGM管式測定器を組み合わせた構成により、1台の測定器でさまざまな測定環境に対応が可能です。



For All Your Tomorrows

TOYO MEDIC

E-mail : info@toyo-medico.co.jp <https://www.toyo-medico.co.jp>

東洋メディック株式会社

本 社 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-8-5 TEL. (03) 6825-1645 FAX. (03) 6825-3737
 大 阪 支 店 〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀 1-25-7 TEL. (06) 6441-5741 FAX. (06) 6441-5745
 福 岡 支 店 〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 2-2-40 TEL. (092) 482-2022 FAX. (092) 482-2027
 支店・営業所 名古屋・札幌・新潟・仙台・岡山

SHIMADZU
Excellence in Science

Evolution, Innovation, Transformation
solving challenges together

Vision on the move

挑戦し続ける、その先の未来へ

The Vision reflects New Possibilities

VISION SUPPORT

3Dカメラから得られる映像に加え、距離及び角度情報をセカンドモニタへ表示、適切なポジショニングをサポートします。



MobileDaRt Evolution
MX9 Version

Scan me,



VISION SUPPORTはオプションです

製造販売認証番号 220ABBZ00229000
 移動型デジタル式汎用X線診断装置 [回診用X線撮影装置 MobileDaRt Evolution]
 移動型アナログ式汎用X線診断装置※、X線平面検出器出力読取型デジタルラジオグラフィ※
 特定保守管理医療機器
 ※本医療機器は複数の一般的な名称に該当します

株式会社 島津製作所 医用機器事業部
<https://www.med.shimadzu.co.jp>

PHILIPS

+
Feel the freedom with
BlueSeal MRI

Better care
for more people

製造販売業者
株式会社フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V. または
その他の会社の商標または登録商標です。
©2024 Koninklijke Philips N.V.

竹中のセンサ **TAKEX**

放射線治療・画像診断用 レーザサイドポインター

放射線治療を支える品質、精度。
TAKEXは安全性と信頼性の証です。

ビームの開口部を広くした新デザインでイメージアップ、
ALPCVシリーズ、PLM/PLM5シリーズの後継機。
独自の光学設計により視認性を向上させ、リモコンでの
操作性も大幅に改善した、治療計画の新標準です。



自動位置ズレ補正方式レーザサイドポインター ALPCVシリーズ

- 全方向が電動化しリモコンで操作可能となり、位置記憶もリモコンからのワンタッチ操作で完結し、調整作業性が大幅に向上します。
- 従来からの本体スイッチによる補正動作に加え、ワンショット補正動作がリモコンワンタッチで実行可能となり日常の精度維持が更に容易になります。



多機能リモコン式レーザサイドポインター PLMVシリーズ

- 各軸動作の分解能と精度が向上 (PLM5比較) し、意図したパターン移動で調整作業性が大幅に向上。
- クラス2を維持しつつ、更に明るく視認性が向上し明るいLED照明下でも使いやすくなりました。

竹中センサグループ
TAKEX **竹中オプトニクス株式会社**
TAKENAKA OPTONIC CO.,LTD.
<https://www.takex-opt.co.jp>

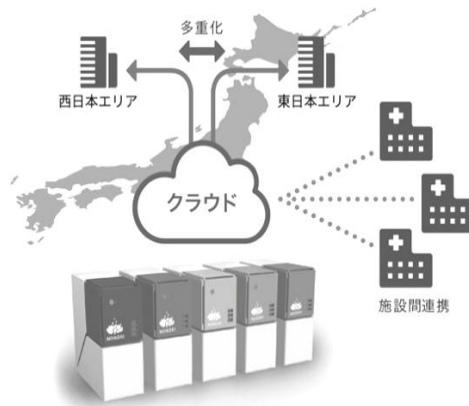
東京営業所 〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町4-5-1 日東本石町ビル5階
TEL 03-3279-1681 (代) FAX 03-3270-2657
E-mail : tokyo@takex-opt.co.jp

京都営業所 〒607-8482
京都市山科区北花山大林町60-1 TAKEX 北花山ビル
TEL 075-592-0107 (代) FAX 075-583-3179
E-mail : kyoto@takex-opt.co.jp



次世代PACSは セキュアなクラウドサービスへ

「NOBORI」はIT技術によって、
画像などの医療情報を安全に保管・利用できる
新しいクラウドサービスです。



- Feature 01 院内サーバ不要
- Feature 02 スピーディーな画像参照
- Feature 03 安心・安全のデータ保管
- Feature 04 初期投資ゼロ
- Feature 05 障害自動検知
- Feature 06 施設間連携にも対応



PSP株式会社 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号 博多大博通ビルディング12階 TEL. 03-5657-4315 www.psp.co.jp

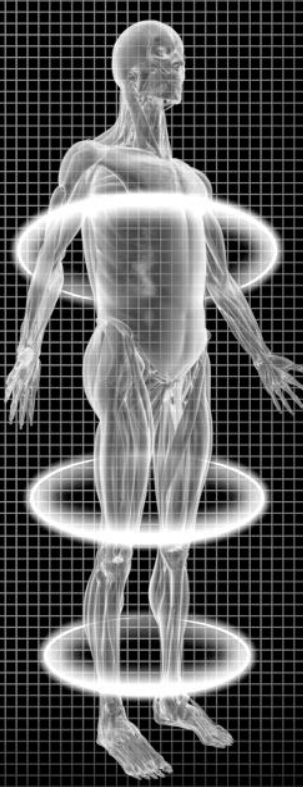
United Innovation

Information System から Intelligence System へ

- 放射線情報システム iRad®-RS
- 放射線レポートシステム iRad®-RW
- 放射線治療システム iRad®-RT
- 放射線治療ビューア RT Image Viewer™
- 検像システム iRad®-QA
- 整形外科画像システム iRad®-OT



URL: <http://www.infocom.co.jp/healthcare/> E-mail: iRad-sales@infocom.co.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番2号 ミッドタウン・イースト10階 TEL.03-6866-3790 (受付)



PET/SPECT

処方箋医薬品^㉑
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、心血管疾患診断薬、てんかん診断薬

FDGスキャン[®]注
放射性医薬品基準フルデオキシグルコース (¹⁸F)注射液

処方箋医薬品^㉑
放射性医薬品・心臓疾患診断薬・甲状腺疾患診断薬・腫瘍(脳、甲状腺、肺、骨・軟部、乳腺)診断薬

塩化タリウム(²⁰¹Tl)注NMP
日本薬局方塩化タリウム (²⁰¹Tl)注射液

処方箋医薬品^㉑
放射性医薬品・悪性腫瘍診断薬、炎症性病変診断薬

クエン酸ガリウム(⁶⁷Ga)注NMP
日本薬局方クエン酸ガリウム (⁶⁷Ga)注射液

処方箋医薬品^㉑
放射性医薬品・骨疾患診断薬

クリアボーン[®]注
放射性医薬品基準ヒドロキシメチレンジホスホン酸テクネチウム (^{99m}Tc)注射液

㉑:登録商標
注)注意・医師等の処方箋により使用すること

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元
日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
文獻請求先及び問い合わせ先 ☎ 0120-07-6941

弊社ホームページの“医療関係者専用情報”サイトで
SPECT・PET検査について紹介しています。
<https://www.nmp.co.jp> 2024年12月改訂



Giving Shape to Ideas
多様な視点で未来をデザインする
RETHINK WHAT'S POSSIBLE

バッテリー内蔵“1.9kg”の軽量設計 迅速なワークフローを実現

超軽量 高感度 高耐久

AeroDR swift

1417HL

軽量化・把持性・高画質で、カセット撮影に変革を

バッテリー内蔵1.9kg	100μm画素/DQE59%*1	全周くぼみ設計
MIL規格*2	防水・防塵IP56*3	高耐久抗菌設計*4

AeroDR swiftは『デジタルラジオグラフィーSKR3000』を構成するP-85(製造販売承認番号:228ABBZX00115000)の呼称です。
 ★KONICAMINOLTAロゴ、シンボルマークは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標です。★AeroDR swiftは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標または高標です。★その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。*1:1ImR, 1cycle/mm(DQEの数値はTypical値です。)*2:Method 516.7 Procedure IV Transit Drop(122cm(48インチ)の高さから、各板の上に6平面、12稜線、8頂点、計26箇所を各1回落下させる。)本製品の耐衝撃性能は、無破損・無故障を保障するものではありません。*3:IP規格(防水・防塵規格)は、IEC(国際電気標準化会議)によって定められています。本製品の防水・防塵性能は、完全防水・防塵、無破損・無故障を保障するものではありません。*4:抗菌効果は全ての面に有効ということではありません。また、抗菌は感染を完全に防げるわけではありません。

製造販売元:コニカミノルタ株式会社

販売元:コニカミノルタジャパン株式会社 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1 <http://www.konicaminolta.jp/healthcare>





液体ヘリウムゼロ ヘリウムを使わない時代へ

液体ヘリウムをまったく使わないMRIは
ヘリウム供給の影響を受けず、
クエンチ爆発※のリスクもゼロで
災害時の復旧コストや時間を大幅に削減します

稼働を止めない未来をめざして
ZeroHelium



ECHELON Synergy ZeroHelium

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Synergy
認証番号：305ABBZX00004000

ECHELON Smart ZeroHelium

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart
認証番号：229ABBZX00028000

※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

製造販売業者

富士フイルム株式会社

販売業者

富士フイルム メディカル株式会社

fujifilm.com/fms/

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。●この広告に記載されている会社名、商品名は、富士フイルム株式会社またはグループ会社の商標または登録商標です。●ECHELON Synergy ZeroHelium、ECHELON Smart ZeroHeliumは、ZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用する場合があります。

Creating a world where
healthcare has no limits



GE HealthCare

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

カスタマー・コールセンター 0120-202-021

【受付時間】9:00~18:00 ※土・日・祝を除く

gehealthcare.com

JB09455JA

Our Synergy for Your Solutions.

つながる力を、あしたの医療のために。

医療現場のニーズに、
ワンストップでお応えする、総合医療パートナー。

私たちエア・ウォーター・リンクは
医療現場のあらゆるご要望やお悩みを
スピーディーに解決いたします。

地球の恵みを、社会の望みに。

 **エア・ウォーター・リンク株式会社** <https://www.awlink.co.jp>

本社 〒612-8418 京都市伏見区竹田向代町132番地1
TEL:075-694-1052 FAX:075-694-1066

●京都支店 ●大阪支店 ●滋賀支店 ●奈良支店 ●津出張所 ●東京営業所
●福岡営業所 ●鹿児島出張所 ●宮崎出張所 ●熊本出張所
●北陸支店(金沢営業所/福井営業所/富山営業所, 滅菌センター)



事業拠点詳細

編集後記

すがすがしい青空が気持ち良い季節となりました。会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

冒頭にはなりますが、会報 145 号をお読みいただき、誠にありがとうございます。今回も皆様のご協力を得て無事発行できたことを、この場を借りて感謝申し上げます。

話題は変わりますが、来月より私が非常に楽しみにしております、サッカーの W 杯が開催されます。会員の皆様の中にも楽しみにしておられる方もいらっしゃると思います。今回はアメリカ、カナダ、メキシコの 3 か国で行われます。時差の関係上、睡眠不足の日々が訪れそうです。皆様も寝不足で体調を崩さないようくれぐれもご注意ください。

結びにはなりますが、今後も会員の皆さまに読んでいただける紙面作りを目指してまいりますので引き続き応援よろしく申し上げます。
(米重 亮馬)

鹿児島県診療放射線技師会 会報 第 145 号 (令和 8 年 5 月)

発行 : 公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

発行人: 大迫 俊一

編集者: 米重 亮馬

印刷 : 株式会社 トライ社 鹿児島市南林寺町 12-6 099-226-0815

第 105 回
公益社団法人
鹿児島県診療放射線技師会

定 時 総 会 資 料



日時：令和 8 年 5 月 31 日（日）10:30～12:00

会場：鹿児島市立病院 1 階 多目的ホール

Web 併用開催

公益社団法人 鹿児島県診療放射線技師会

目 次

総会次第	1
令和7年度 活動報告総括	2
令和7年度 事業報告	3
令和7年度 決算報告	
貸借対照表	7
貸借対照表内訳表	8
正味財産増減計算書	9
正味財産増減計算書 内訳表	11
財務諸表に対する注記 附属明細書	13
財産目録	14
令和7年度 監査報告書	15
令和8年度 事業計画	16
令和8年度 収支予算書	18

令和7年度事業報告

総括

令和7年度も、前年度と同様に、本会創立の目的である「診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上・発展」ならびに「県民保健の維持・発展への寄与」を目指し、各種事業を実施いたしました。

本年度は、Web開催に加え、対面を併用したハイブリッド開催を中心に、各種事業を展開することができました。

主な活動として、令和7年度が最終年度となる告示研修（実技）を3回実施し、当県ではこれまでに合計15回開催され、583名の方が免許更新されました。また、告示研修修了者を対象としたワクチン筋注行為講習会を、九州放射線医療技術学術大会 in 鹿児島大会および霧島・始良地域研修会の2回開催しました。さらに、毎年恒例のフレッシューズセミナー、春季学術大会、秋季学術大会、鹿児島市夜間急病センター当直者研修会、市民健康まつり、原子力防災訓練への参加、さらには各種表彰申請を行いました。加えて、大隅地域・北薩地域・南薩地域・大島地域において地域研修会を開催しました。春季学術大会においては、タスク・シフト／シェアに関する内容として「診療放射線技師の静脈注射、もう始めていますか？ ～先駆者からのアドバイス～」をテーマにシンポジウムを実施しました。県内でいち早く実施しているいづろ今村病院より、看護師と診療放射線技師それぞれの立場からの経験について、また宮崎県の古賀総合病院の取り組みについてご講演をいただき、ディスカッションを行いました。

研究会活動は、鹿児島CT研究会を3回、鹿児島MRI研究会を2回、鹿児島消化器画像研究会と鹿児島超音波研究会の合同開催を2回、鹿児島消化器画像研究会は単独でも1回、鹿児島乳腺画像研究会を1回実施し、鹿児島AI研究会は南薩地域研修会と合同開催しました。

管理士部会の研修会は、放射線機器管理士部会研修会、医療画像情報精度管理士部会研修会、放射線管理士部会研修会をそれぞれ1回開催しました。

令和7年度に計画していたすべての事業を実施することは叶いませんでしたが、今後も対面とWebを併用した開催方式を基本とし、会員の皆様にとって参加しやすく、意義のある事業運営を継続してまいります。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努めた。

2. フレッシュアップセミナーの開催

日時：令和7年6月22日(日)9:00～13:30

配信元：南風病院／ハイブリッド開催

参加人数：18名(フレッシュアップ8名、会員4名)

講師：井ノ上 祐二、太田原 美郎、恵 智徳、
藤崎 誠、東 幸浩、大迫 俊一

3. リーダー及びリーダー育成研修会

令和7年度 リーダー及びリーダー育成研修会

日時：令和8年3月4日(水)19:00～20:30

配信元：相良病院／Webのみ

参加者：43名(会員43名、非会員0名)

内容：特別講演

4. レントゲン週間に放射線展の開催

市民健康まつりにて実施

5. 特別企画の実施

なし

6. 地域研修会の実施

6地域(鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域)のうち大島地域において試験的に現地とWEBのHybrid研修会を地域理事の企画において開催した。また、開催の規模や頻度に応じた助成を行った。

鹿児島地域

なし

南薩地域

第46回 南薩地域研修会(鹿児島AI研究会)

日時：令和7年9月27日(土)15:00～18:00

開催場所：県立薩南病院／ハイブリッド

参加者：54名(Web参加20名)

(会員43名、非会員2名、メーカー3名、
学生4名、一般2名)

内容：会員発表：3演題、メーカー講演：2演題

令和7年度 第47回 南薩地域研修会

日時：令和8年3月7日(土)15:00～18:00

開催地：前原総合病院／ハイブリッド

参加者：30名(Web参加9名)

(会員23名、非会員0名、メーカー4名、
一般2名、その他1名)

内容：会員発表：2演題、メーカー講演：2演題、
特別講演

北薩地域

第34回 北薩地域研修会

日時：令和8年2月28日(土)14:00～17:30

開催地：済生会川内病院／現地のみ

参加者：34名(会員26名、非会員0名、
メーカー7名、他職種1名)

内容：情報提供、教育講演、会員発表：4演題

霧島始良地域

令和7年度 霧島・始良地域研修会

日時：令和7年11月22日(土)13:30～16:30

(秋季学術大会と合同開催に記載)

ワクチン筋注行為講習会 16:30～17:30

ファシリテータ(3名)・他補助スタッフ(5名)

参加人数：20名

大隅地域

第52回 大隅地域研修会

日時：令和7年9月20日(土)15:00～18:00

開催場所：大隅鹿屋病院／現地のみ

参加人数：41名

(会員31名、非会員2名、他職種1名、
メーカー7名)

内容：大隅地域研修会アンケート報告・

話題提供：3演題、教育講演：1演題

テーマ討論：概要報告1演題・6施設、

大島地域

令和7年度 大島地域研修会

日時：令和8年2月17日(土)14:00～16:30

開催場所：県立大島病院

参加人数：13名

(会員11名、非会員0名、メーカー2名)

内容：メーカー講演：1演題

会員発表：2演題、教育講演：1演題

7. 学術大会の実施

令和7年度 鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会特別講演、春季学術大会

日時：令和7年6月8日(日)13:00～16:30

配信元：鹿児島市立病院／ハイブリッド

参加人数：67名(Web参加26名)

(会員65名、非会員0名、他職種2名)

内容：会員発表：3演題、シンポジウム：4演題

シンポジウム：

「診療放射線技師の静脈注射、もう始めていますか?～先駆者からのアドバイス～」

- ・上原 奈津美先生 (いづろ今村病院 看護部長)
- ・脇田 慎一先生 (いづろ今村病院 画像診断科)
- ・篠原 暢孝先生 (古賀総合病院 放射線技術部)
- ・平石 敬美先生 (いづろ今村病院 教育担当師長)

霧島始良地域・

鹿児島県診療放射線技師会秋季学術大会

令和7年度 霧島・始良地域研修会

日時：令和7年11月22日(土) 13:30～16:30

開催場所：霧島市立医師会医療センター／ハイブリッド

参加人数：54名(Web参加12名)

(会員54名、非会員0名、他職種1名)

内容：会員発表：4演題、情報提供：2演題

特別講演：1演題

内容：施設紹介：2演題、

情報提供(メーカー)：5演題

第62回 鹿児島CT研究会

日時：令和7年9月25日(木) 19:00～21:00

配信元：米盛病院／Webのみ

参加人数：124名

(会員121名、非会員2名、他職種1名)

内容：施設紹介：1演題、

施設発表：5演題、特別講演：1演題

8. 各研究会の実施

鹿児島消化器画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島CT研究会、鹿児島MRI研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島X線撮影研究会・鹿児島AI研究会を鹿児島県診療放射線技師会の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行った。

鹿児島消化器画像研究会、

鹿児島超音波研究会

第78回 鹿児島消化器画像研究会

第28回 鹿児島超音波研究会 合同開催

日時：令和7年7月16日(水) 18:30～20:00

配信元：南風病院／Webのみ

参加人数：56名

(会員56名、非会員0名)

内容：ミニレクチャー：2演題

会員報告：4演題

第79回 鹿児島消化器画像研究会

第29回 鹿児島超音波研究会

日時：令和7年10月15日(水) 18:30～20:00

配信元：南風病院／Webのみ

参加人数：52名

(会員52名、非会員0名)

内容：ミニレクチャー：1演題

会員報告：5演題

鹿児島消化器画像研究会

第80回 鹿児島消化器画像研究会

日時：令和8年2月4日(水) 18:30～20:00

開催場所：鹿児島共済会 南風病院／Webのみ

参加人数：35名(会員34名、メーカー1名)

内容：ミニレクチャー：1演題、症例報告：1演題、

メーカー講演：1演題

鹿児島超音波研究会

単独開催なし

鹿児島CT研究会

第61回 鹿児島CT研究会

日時：令和7年5月21日(水) 18:30～21:00

配信元：鹿児島厚生連病院／Webのみ

参加人数：104名

(会員98名、非会員0名、メーカー6名)

第63回 鹿児島CT研究会

日時：令和8年1月31日(土) 15:00～18:00

開催場所：鹿児島市立病院／ハイブリッド

参加人数：70名(Web参加54名)

(会員70名、非会員0名)

内容：特別講演、会員発表：5演題

鹿児島MRI研究会

第30回 鹿児島MRI研究会

日時：令和7年9月26日(金) 18:30～20:00

配信元：鹿児島大学病院／Webのみ

参加人数：30名

(会員29名、非会員0名、メーカー1名)

内容：メーカー講演：1演題、特別講演：1演題

第31回 鹿児島MRI研究会

日時：令和8年3月11日(水) 18:30～20:00

配信元：鹿児島大学病院／Webのみ

参加人数：60名(会員52名、学生7名、メーカー1名)

内容：メーカー講演：1演題、施設発表：3演題

鹿児島乳腺画像研究会

令和7年度 鹿児島乳腺画像研究会

日時：令和7年11月5日(水) 18:30～20:30

配信元：鹿児島市立病院／ハイブリッド

参加人数：29名(Web参加14名)

(会員20名、非会員3名、メーカー6名)

内容：メーカー講演：1演題、特別講演：1演題

鹿児島AI研究会

第1回 鹿児島AI研究会

日時：令和7年9月27日(土) 15:00～18:00

第46回 南薩地域研修会との合同開催

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催した。

鹿児島県放射線管理士部会

令和7年度 放射線管理支部会研修会
日時：令和7年12月6日(木) 16:00~18:30
配信元：相良病院／ハイブリッド
参加人数：20名(Web参加5名)
(会員12名、学生8名)
内容：特別講演：2演題

放射線機器管理支部会研修会

令和7年度 放射線機器管理支部会研修会
日時：令和7年3月10日(火) 18:30~20:00
配信元：川内市医師会立市民病院／Webのみ
参加人数：43名
(会員36名、他職種2名、メーカー4名)
内容：メーカー教育講演：2演題
情報提供：メーカー1演題

鹿児島県医療画像情報精度管理士部会

令和7年度鹿児島県医療画像情報精度管理士部会
日時：令和7年8月2日(金) 14:30~17:00
配信元：ひらやま脳神経外科／ハイブリッド
参加人数：51名(Web参加34名)
(会員34名、他職種5名、メーカー8名、
一般4名)
内容：メーカー発表：2演題、特別講演：1演題

10. 鹿児島さくら RT

令和7年度 鹿児島さくら RT 研修会
日時：令和8年2月26日(木) 19:00~21:00
配信元：さがらパース通りクリニック／Webのみ
参加人数：68名
(会員59名、非会員4名、学生2名、他職種3名)
内容：話題提供：2演題、講演：1演題

11. ホームページの活用促進

ホームページの更新に伴い内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信した。また各地域からも情報発信しやすいシステムを構築した。
今年度は会員専用のページや各種申請のオンライン手続きを開始した。また、鹿児島診療放射線技師会専用LINEでJARTからの情報や研究会等案内を行った。

12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益法人としての社会的役割を果たした。

○市民健康まつり

今年度は、10月12日(土)に西原商会アリーナにて市民健康まつりが開催。今年は、超音波による骨密度測定、放射線相談・展示、小学生を対象にした医療従事者職業体験(MEDkids)をスタッフ15名が参加し行った。
来場者数は約1200名の参加人数があり、超音波による骨密度測定では、過去最高の584名の方の測

定を実施した。その他、放射線相談：5名、MEDkids：74名実施。

○つながる想い in かごしま

今年度は、5月11日(日)にかごしま県民交流センター・県政記念公園で開催。講演会、バルーンリリース、アート展などを行っています。鹿児島県診療放射線技師会は今年度も後援を行った。

○ピンクリボン in Kagoshima

今年度も、昨年度に引き続きリーフレット作成および配布などを通して乳がん検診の普及に対する活動の協賛を行った。

13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な研修に出席した。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての放射線技師の存在を誇示した。

(原子力防災訓練)

令和7年度 鹿児島県原子力防災訓練
今年度は、県内3会場で行われた避難退域時検査実施訓練に参加。

日時：令和8年2月7日(日)

場所(参加人数)：

さつま町会場：薩摩総合運動公園 (8名)

日吉会場：日吉総合体育館 (5名)

長島会場：川床コミュニティ運動場 (3名)

内容：指定箇所検査・確認検査

14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間急病センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議を開催した。

派遣登録者数：24名(令和7年12月15日時点)

令和7年度 第1回 夜間急病センター研修会

日時：令和7年11月20日(木) 19:25~20:30

場所：鹿児島市精神保健福祉交流センター

対象：派遣登録者(全員)、一般会員

参加人数：28名

(夜間急病センター当直者23名、一般会員5名)

内容：特別講演：1演題

令和7年度 第2回 鹿児島市夜間急病センター

当直者研修会(リーダー研修会：合同開催)

日時：令和8年3月4日(水) 19:00~20:30

配信元：相良病院／Webのみ

参加者：43名(会員43名、非会員0名)

内容：特別講演

令和7年度 第3回 夜間急病センター研修会
(放射線機器管理士部会研修会：合同開催)
日時：令和8年3月10日(火) 15:00～16:30
開催場所：川内市医師会立市民病院／Webのみ
対象：派遣登録者(全員) 参加人数：24名

第1回 連絡調整会議
日時：令和7年11月20日(木) 20:30～21:00
場所：鹿児島市精神保健福祉交流センター
対象：派遣登録者(全員) 参加人数：24名

第2回 連絡調整会議
日時：令和8年3月4日(土) 20:30～21:00
開催場所：Webのみ
対象：派遣登録者(全員) 参加人数：22名

第3回 連絡調整会議
なし

15. その他の事業

環境測定事業

日時：令和7年9月、令和8年3月
施設：ふくい耳鼻咽喉科クリニック
測定者：奥 好史

日時：令和7年9月、令和8年3月
施設：耳鼻咽喉科田上クリニック
測定者：西元辰也・隈浩司

出版事業(年3回発行)

令和7年05月：第142号会報発行
令和7年09月：第143号会報発行
令和8年01月：第144号会報発行

組織拡大事業

フレッシューズセミナー、各支部研修会、各研究会等にて会員勧誘を実施した。
また、今年度は新たに鹿児島医療技術専門学校の4年生を対象に、診療放射線技師会の活動報告と入会の案内を行った。

診療放射線技師会活動報告と入会案内
日時：令和8年3月6日(水) 10:00～11:00
配信元：相良病院(Web配信)
対象：鹿児島医療技術専門学校 診療放射線学科
4年生(全員)・既卒生
参加人数：76名

医療被ばく低減事業

未実施

関連団体との連携

「告示研修」の実施など公益社団法人日本診療放射線技師会や他関連団体との協力事業を推進し、連携の強化を図った。

令和7年厚生労働省告示第273号研修における実技研修会(告示研修会)
会場：鹿児島医療技術専門学校 平川キャンパス
対象：診療放射線技師
* 今年度が最終年度：年3回実施

令和7年度 第1回 告示研修会
日時：令和7年5月25日(日) 9:00～18:00
参加人数：30名(会員27名、非会員7名)

令和7年度 第2回 告示研修会
日時：令和7年8月17日(日) 9:00～18:00
参加人数：33名(会員19名、非会員14名)

令和7年度 第3回 告示研修
日時：令和7年12月7日(日) 7:30～18:30
参加人数：33名(会員19名、非会員14名)

業務拡大に伴う統一講習会
なし

サテライト事業

Web配信による研修会、講演会等を開催する。
各研究会、各管理支部会等：19回
総会、理事会、各種会議等：35回

令和7年度 理事会・常務理事会

第1回 理事会：令和7年05月23日(金)
第2回 理事会：令和7年06月08日(日)
第3回 理事会：令和7年08月09日(土)
第4回 理事会：令和7年12月20日(土)
第5回 理事会：令和8年03月08日(日)

第1回 常務理事会：令和7年05月01日(木)
第2回 常務理事会：令和7年07月31日(木)
第3回 常務理事会：令和7年12月01日(月)
第4回 常務理事会：令和8年03月02日(月)
第5回 常務理事会：令和8年03月26日(木)

貸借対照表

令和 8 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,108,129	1,062,080	46,049
流動資産合計	1,108,129	1,062,080	46,049
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	7,900,000	7,900,000	0
建物	1,540,880	1,948,760	△ 407,880
基本財産合計	9,440,880	9,848,760	△ 407,880
(2) 特定資産			
事務所建替資産	14,348,430	14,327,880	20,550
特定資産合計	14,348,430	14,327,880	20,550
(3) その他固定資産			
什器備品	65,685	128,146	△ 62,461
その他の固定資産合計	65,685	128,146	△ 62,461
固定資産合計	23,854,995	24,304,786	△ 449,791
資産合計	24,963,124	25,366,866	△ 403,742
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	165,000	150,000	15,000
流動負債合計	165,000	150,000	15,000
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	165,000	150,000	15,000
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(2) その他一般正味財産	24,798,124	25,216,866	△ 418,742
一般正味財産	24,798,124	25,216,866	△ 418,742
正味財産合計			
負債及び正味財産合計	24,963,124	25,366,866	△ 403,742

(1-2)

貸借対照表内訳表
令和8年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益事業会計	法人会計	合計
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	0	1,108,129	1,108,129
未収会費	0		0
未収負担金			0
会計間貸借勘定	1,500,172	△ 1,500,172	0
流動資産合計	1,500,172	△ 392,043	1,108,129
2. 固定資産			0
(1) 基本財産			0
土地	4,740,000	3,160,000	7,900,000
建物	924,528	616,352	1,540,880
基本財産合計	5,664,528	3,776,352	9,440,880
(2) 特定資産			0
事務所建替積立資産	8,609,058	5,739,372	14,348,430
特定資産合計	8,609,058	5,739,372	14,348,430
(3) その他固定資産			0
什器備品	65,682	3	65,685
その他固定資産合計	65,682	3	65,685
固定資産合計	14,339,268	9,515,727	23,854,995
資産合計	15,839,440	9,123,684	24,963,124
			0
II 負債の部			0
1. 流動負債	0	0	0
前受金	165,000	0	165,000
流動負債合計	165,000	0	165,000
2. 固定負債			0
固定負債合計	0	0	0
負債合計			0
III 正味財産の部			0
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			0
一般正味財産合計	15,674,440	9,123,684	24,798,124
正味財産合計	15,674,440	9,123,684	24,798,124
負債及び正味財産合計	15,839,440	9,123,684	24,963,124

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	20,550	2,082	18,468
受取入金			
受取会費			
正会員会費	4,200,500	4,283,000	△ 82,500
九州地域放射線技師会会費	312,000	318,500	△ 6,500
事業収益			
研修会会費	148,129	119,870	28,259
広告収益	390,000	330,000	60,000
環境測定事業	32,000	25,000	7,000
業務委託収益			
日本放射線技師会業務委託	106,800	102,000	4,800
受取負担金			
市医師会負担金	292,000	292,000	0
雑収益			
受取利息	1,650	493	1,157
雑収益	248,000	30,961	217,039
経常収益計	5,751,629	5,503,906	247,723
(2) 経常費用			
事業費	4,939,641	4,795,308	144,333
福利厚生費	160,000	63,900	96,100
広告宣伝費	233,300	320,000	△ 86,700
旅費交通費	610,106	675,690	△ 65,584
通信運搬費	872,026	992,824	△ 120,798
消耗品費	137,973	92,783	45,190
印刷製本費	806,042	728,653	77,389
修繕費	71,500	0	71,500
賃借料	143,000	4,950	138,050
諸謝金	1,105,000	1,007,000	98,000
支払手数料	219,797	171,385	48,412
租税公課	36,600	1,800	34,800
会議費	209,435	168,673	40,762
減価償却費	62,461	297,054	△ 234,593
雑費	272,401	270,596	1,805
管理費	1,230,730	1,212,282	18,448
広告宣伝費	66,000	66,000	0
会議費	63,063	57,237	5,826
旅費交通費	13,200	24,000	△ 10,800
通信運搬費	58,760	54,688	4,072
消耗品費	35,045	31,186	3,859
光熱水料費	126,724	123,285	3,439
保険料	72,546	72,546	0
九州地域放射線技師会負担金	315,500	307,000	8,500
租税公課	39,400	39,200	200
支払手数料	30,195	29,260	935
減価償却費	407,880	407,880	0
雑費	2,417	0	2,417
経常費用計	6,170,371	6,007,590	162,781

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
評価損益調整前経常増減額	△ 418,742	△ 503,684	84,942
基本財産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 418,742	△ 503,684	84,942
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 418,742	△ 503,684	84,942
一般正味財産期首残高	25,216,866	25,720,550	△ 503,684
一般正味財産期末残高	24,798,124	25,216,866	△ 418,742
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	24,798,124	25,216,866	△ 418,742

正味財産増減計算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	12,330	8,220	20,550
受取入金	0	0	0
受取会費			
正会員会費	2,100,250	2,100,250	4,200,500
九州地域放射線技師会会費	156,000	156,000	312,000
事業収益			
研修会会費	148,129	0	148,129
広告収益	390,000	0	390,000
環境測定事業	32,000	0	32,000
業務委託収益			0
日本放射線技師会業務委託	106,800	0	106,800
受取負担金			0
市医師会負担金	292,000	0	292,000
雑収益			0
受取利息		1,650	1,650
雑収益	248,000	0	248,000
経常収益計	3,485,509	2,266,120	5,751,629
(2) 経常費用			
事業費	3,868,356	1,071,285	4,939,641
福利厚生費	160,000		160,000
広告宣伝費	233,300		233,300
旅費交通費	400,406	209,700	610,106
通信運搬費	707,637	164,389	872,026
消耗品費	131,681	6,292	137,973
印刷製本費	806,042		806,042
修繕費	71,500		71,500
賃借料	143,000		143,000
諸謝金	781,000	324,000	1,105,000
支払手数料	165,012	54,785	219,797
租税公課	200	36,400	36,600
会議費	18,686	190,749	209,435
減価償却費	62,461	0	62,461
雑費	187,431	84,970	272,401
管理費	706,888	523,842	1,230,730
広告宣伝費	39,600	26,400	66,000
会議費	37,838	25,225	63,063
旅費交通費	7,920	5,280	13,200
通信運搬費	35,256	23,504	58,760
消耗品費	21,027	14,018	35,045
光熱水料費	76,034	50,690	126,724
保険料	43,528	29,018	72,546
九州地域放射線技師会負担金	157,750	157,750	315,500
租税公課	23,640	15,760	39,400
支払手数料	18,117	12,078	30,195
減価償却費	244,728	163,152	407,880
雑費	1,450	967	2,417
経常費用計	4,575,244	1,595,127	6,170,371
評価損益調整前経常増減額	△ 1,089,735	670,993	△ 418,742
			0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,089,735	670,993	△ 418,742
(1) 経常外収益			

	固定資産売却益	0	0	0
(2)	経常外費用			
	固定資産売却損	0	0	0
	経常外費用計	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 1,089,735	670,993	△ 418,742
	他会計振替額	692,885	△ 692,885	0
	一般正味財産期首残高	16,071,290	9,145,576	25,216,866
	一般正味財産期末残高	15,674,440	9,123,684	24,798,124
II	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	0	0	0
	指定正味財産期末残高	0	0	0
III	正味財産期末残高			
	正味財産期末残高	15,674,440	9,123,684	24,798,124

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっています。
- (2) 消費税等の会計処理
消費税の納税義務はありません。

2. 会計方針の変更

該当事項はありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増減額	当期減少額	当期末残高
【基本財産】				
土地	7,900,000	0	0	7,900,000
建物	1,948,760	0	407,880	1,540,880
小計	9,848,760	0	407,880	9,440,880
【特定資産】				
事務所建替積立資産	14,327,880	20,550	0	14,348,430
小計	14,327,880	20,550	0	14,348,430
合計	24,176,640	20,550	407,880	23,789,310

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
【基本財産】				
土地	7,900,000		7,900,000	
建物	1,540,880		1,540,880	
小計	9,440,880	—	9,440,880	—
【特定資産】				
事務所建替積立資産	14,348,430	—	14,348,430	—
小計	14,348,430	—	14,348,430	—
合計	23,789,310	—	23,789,310	—

5. 担保に供している資産

該当事項はありません。

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高	備考
建物	11,330,000	9,789,120	1,540,880	
什器備品	5,072,040	5,006,355	65,685	
合計	16,402,040	14,795,475	1,606,565	

7. 重要な後発事象

該当する事項はありません。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載
2. 引当金等の明細
該当事項はありません

財 産 目 録
令和8年 3月31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金	手許保管	運転資金	64,713
	預金	普通預金 鹿児島銀行	運転資金	398,647
		郵便振替口座		644,769
流動資産合計				1,108,129
(固定資産)				
基本財産	土地	132.24㎡	60%は公益目的事業に使用	7,900,000
	建物	67.9㎡	40%は管理業務に使用	1,540,880
特定資産	事務所建替資産	定期郵便貯金	事務所建替の財源として	
		郵便振替口座	積み立てている資産取得資金	14,348,430
その他固定資産	什器備品		公益事業及び管理業務に使用	65,685
固定資産合計				23,854,995
資産合計				24,963,124
(流動負債)				
	前受金	広告収入次年度分		165,000
流動負債合計				165,000
(固定負債)				
固定負債合計				
負債合計				165,000
正味財産				24,798,124

令和7年度 監査報告書

令和8年 4月 22日

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

会 長 大迫 俊一 殿

公益社団法人鹿児島県診療放射線技師会

監 事 米山 光明



監 事 太田原 美郎



監事兩名は、令和7年度の技師会運営に関する監査を技師会事務所において実施し、協議の上、この監査報告を作成したので以下の通り報告する。

記

1. 監査の概要

理事会に出席するほか、会長及び担当理事から技師会運営に関する報告を受け、会務執行、事業計画及び会計処理について監査した。

2. 監査の結果

(1) 会務執行

会員の異動状況報告、各種の議事録、文書綴りを閲覧した結果、定款及び総会決議に違反する事実は認められず的確に処理されていることを認める。

(2) 事業について

事業計画に基づき、順調に執行運営されていることを認める。

(3) 会計処理

収支状況について収支計算書ならびに証拠書類などを審査した結果、不整の連は認められず、諸帳簿類の記載ならびに会計処理は間違いなく処理されていることを認める。

(4) その他

特に指摘する事項は認められない。

以上

令和8年度事業計画

鹿児島県診療放射線技師会は、令和8年度も公益社団法人として、前年度同様に公益社団法人にふさわしい事業を行います。今年度も現地開催とWeb開催を併用するなど、積極的な活動を行ってまいります。

公益事業として、「つながる想い in かごしま」およびピンクリボンイベントに参画し、がん患者さんへの理解促進とイベント支援を行います。また、レントゲン週間事業の開催を予定しております。これらの活動を通して、診療放射線技師ならびに鹿児島県診療放射線技師会の啓発を行ってまいります。

定例事業としては、フレッシューズセミナー、リーダーおよびリーダー育成研修会、春季ならびに秋季学術大会の開催を予定しており、春季は鹿児島市、秋季は大隅地域で開催いたします。また、各地域研修会、研究会並びに管理士部会、そして鹿児島さくらRTの集い等も例年同様に開催いたします。

令和8年度の原子力防災訓練には鹿児島県診療放射線技師会も参加予定です。地域保健協力事業として引き続き鹿児島市夜間急病センター支援事業を行い、担当者による研修会も3回以上予定です。

上記の通り、鹿児島県内の診療放射線技師の職業倫理の高揚と資質の向上並びに鹿児島県民の健康増進に寄与する事業を行います。令和8年度も鹿児島県診療放射線技師会活動にご理解並びにご協力をよろしく願いいたします。

本会創立の目的である、診療放射線学および診療放射線に関する技術の向上発展並びに県民保健の維持発展に寄与するため以下の事業を行う。

1. 生涯学習の推進

安全で質の高い医療の提供を求める県民の負託に応えるためには、卒後教育が重要である。また、大きく変化していく診療放射線技術や社会情勢に対応すべく生涯学習の推進に努める。

2. フレッシューズセミナーの開催

これまで実施してきた、社会人・医療人としての心構えや接遇に関する教育、並びに臨床現場ですぐに役立つ放射線技術に関する研修については、JART 会員サイト内の e-Learning へ移行する。

一方、フレッシューズセミナーは入会促進のためのイベントとして、グループワークを通じて参加者同士が互いに顔見知りとなり、その後の関係性構築につながる場として開催する。

3. リーダー及びリーダー育成研修会

放射線部門のリーダーとして、いかにして優秀な人材を育てていくか、どのように行動することが県民や病院に貢献できるか等の研修会を開催する。また、次代を担うリーダーの育成に努めるとともに施設間の情報の交換を行う。

4. レントゲン週間に放射線展並びに市民公開講座の開催

日本診療放射線技師会が推進する『国民から見える職業へ』『期待に応える専門職種として』のスローガンを達成するために、県民と直に接し、放射線技師の業務等を紹介するため、当会独自のイベントを開催する。また、市民公開講座や無料検診を行うことにより、より公益性を高めていく。

5. 特別企画の実施

公益性に富む一般講演会の開催を企画し、知識・素養も身につける。

6. 地域研修会の実施

6地域(鹿児島地域、南薩地域、北薩地域、霧島・始良地域、大隅地域、大島地域)研修会を理事会の企画において開催する。会員、非会員に限らず参加を可能とし、会員増加の促進を図る。

7. 学術大会の実施

学術大会は春季と秋季に開催している。春季は鹿児島市開催、秋季は各地域の持ち回りで企画・開催しているが、令和8年度は大隅地域で開催する。各地域の持ち回りで開催することにより、地域間の協力体制の強化を図る。

8. 各研究会の実施

消化管研究会、CT 研究会、MRI 研究会、鹿児島乳腺画像研究会、鹿児島超音波研究会、鹿児島X線撮影研究会、鹿児島 AI 研究会、また今年度から新たに鹿児島放射線治療研究会を県の事業とし、研究会の充実を図るとともに非会員に対して入会の勧誘を積極的に行う。また、各研究会の活動が充実していくための助成を行い、CT 研究会、MRI 研究会などに関しては各地域でも開催できるよう企画する。

9. 管理士部会による研修会開催

安全で質の高い医療を提供するためには、放射線管理・機器管理・画像情報管理を適正に行うことが不可欠である。これらの管理は、日々の業務の中で継続的に実践することが重要である。より効率的な管理を行ううえで必要な講習会を管理士部会主催で開催する。

10. 鹿児島さくら RT

業務改善を推進し、ライフワークバランスを目指した研修会等を開催する。

11. ホームページの活用促進

ホームページを定期的に見直し、閲覧のしやすさや内容の充実を図り、会員、県民に積極的に情報を発信する。各支部からも情報発信しやすいシステムを構築する。

また、LINE を通じて研究会の案内など最新の情報を発信する。ホームページにお問い合わせフォームを公開し、公益社団法人として一般市民からの問い合わせに応じる体制作りを整える。

12. 各種イベント等への積極的参加・協力

他関係団体との共催である市民健康まつり等に積極的に参加し、他職種との連携を深めるとともに公益社団法人としての社会的役割を果たす。

13. 原子力防災支援

原子力災害時に適正かつ迅速に対応するために必要な人材育成を行う。また、県が開催する原子力防災訓練に参画し、放射線に関する専門家としての診療放射線技師の存在を広く示していく。

14. 地域保健協力事業

鹿児島市医師会より委託を受けた鹿児島市夜間急病センター放射線業務に対して、診療放射線技師を派遣する。業務の安全ならびに質の高い画像情報を提供するために必要な連絡調整会議や研修会を開催する。

15. その他の事業

環境測定事業	環境測定を放射線管理士部会の組織下に置き、事業の見直しを検討する。各施設からの依頼を受け、環境測定を実施するとともに、放射線施設や機器の安全性に関する指導を行う。
出版事業	会報を3回発行するとともに、緊急連絡が必要な場合にはニュースを発行する。また、会員からの投稿も積極的に勧誘し掲載する。
組織拡大事業	各種の行事に非会員も参加させ、入会の勧誘を行う。 技師養成校の卒業生を対象に診療放射線技師会活動報告と入会案内を行う。
医療被ばく低減事業	被ばく線量測定を行い、DRLs2025を基に撮影条件等の検討を行う。
関連団体との連携	公益社団法人日本診療放射線技師会や他関連団体との協力事業を推進し、連携の強化を図る。
Web 配信事業	Web 配信や Hybrid 開催による研修会、講演会等を実施する。
放射線教育事業	小学校・中学校で放射線に関する正しい理解と、医療に欠かせないものであることを紹介。放射線教育の更なる充実を図るため、放射線に関する専門家としての診療放射線技師の社会的役割を果たす。

(2-1)

正味財産増減計算予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度予算	前年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費			
鹿児島県診療放射線技師会受取会費	4,550,000	4,480,000	70,000
九州地域放射線技師会受取会費	325,000	320,000	5,000
事業収益			
研修会会費	150,000	150,000	0
広告料収益	450,000	450,000	0
環境測定事業	50,000	50,000	0
業務委託収益			
日本診療放射線技師会業務委託	100,000	100,000	0
受取負担金			
受取負担金	0	0	0
市医師会負担金	300,000	300,000	0
受取寄付金	0	0	0
雑収益			
受取利息	10,000	5,000	5,000
雑収入	300,000	300,000	0
経常収益計	6,235,000	6,155,000	80,000
(2) 経常費用			
(i) 事業費	6,310,000	6,550,000	△ 440,000
広告宣伝費	400,000	400,000	0
旅費交通費	900,000	900,000	0
通信運搬費	650,000	650,000	0
消耗品費	250,000	300,000	△ 50,000
修繕費	30,000	70,000	△ 40,000
印刷製本費	1,000,000	1,000,000	0
光熱水料費	0	0	0
賃借料	200,000	200,000	0
保険料	0	0	0
諸謝金	1,100,000	1,500,000	△ 400,000
支払手数料	250,000	250,000	0
租税公課	70,000	70,000	0
会議費	210,000	210,000	0
減価償却費	400,000	400,000	0
福利厚生費	300,000	300,000	0
雑費	350,000	300,000	50,000
什器備品	200,000	0	200,000
(ii) 管理費	1,768,000	1,927,880	△ 159,880
広告宣伝費	100,000	100,000	0
会議費	100,000	100,000	0
旅費交通費	80,000	100,000	△ 20,000

通信運搬費	100,000	220,000	△ 120,000
消耗品費	80,000	100,000	△ 20,000
修繕費	100,000	100,000	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水料費	200,000	200,000	0
保険料	80,000	80,000	0
賃借料	0	0	0
諸謝金	0	0	0
支払手数料	50,000	50,000	0
租税公課	50,000	50,000	0
九州地域放射線技師会費負担金	320,000	320,000	0
減価償却費	408,000	407,880	120
雑費	100,000	100,000	0
経常費用計	8,078,000	8,477,880	△ 599,880
当期経常増減額	△ 1,843,000	△ 2,322,880	479,880
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計			0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,843,000	△ 2,322,880	479,880
一般正味財産期首残高	22,804,260	25,127,140	△ 2,322,880
一般正味財産期末残高	20,961,260	22,804,260	△ 1,843,000
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	20,961,260	22,804,260	△ 1,843,000

正 味 財 産 増 減 予 算 内 訳 書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公 益 事 業 会 計	法 人 会 計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
特定資産運用益	0	0	0
受取入会金	0	0	0
受取会費			
鹿児島県診療放射線技師会受取会費	2,275,000	2,275,000	4,550,000
九州地域放射線技師会受取会費	162,500	162,500	325,000
事業収益			
研修会会費	150,000	0	150,000
広告料収益	450,000	0	450,000
環境測定事業	50,000	0	50,000
業務委託収益			
日本診療放射線技師会業務委託	100,000		100,000
受取負担金			
受取負担金	0	0	0
市医師会負担金	300,000	0	300,000
受取寄付金	0	0	0
雑収益			
受取利息	10,000	0	10,000
雑収入	300,000	0	300,000
経常収益計	3,797,500	2,437,500	6,235,000
(2) 経常費用			
(i) 事業費			
広告宣伝費	400,000	0	400,000
旅費交通費	700,000	200,000	900,000
通信運搬費	550,000	100,000	650,000
消耗品費	200,000	50,000	250,000
修繕費	30,000	0	30,000
印刷製本費	1,000,000	0	1,000,000
光熱水料費	0	0	0
賃借料	150,000	50,000	200,000
保険料	0	0	0
諸謝金	800,000	300,000	1,100,000
支払手数料	200,000	50,000	250,000
租税公課	35,000	35,000	70,000
会議費	30,000	180,000	210,000
減価償却費	400,000	0	400,000
福利厚生費	300,000	0	300,000
雑費	250,000	100,000	350,000
什器備品	200,000	0	200,000
(ii) 管理費			
(公益：共益)			
広告宣伝費	50,000	50,000	100,000
会議費	60,000	40,000	100,000
旅費交通費	48,000	32,000	80,000
通信運搬費	50,000	50,000	100,000
消耗品費	40,000	40,000	80,000
修繕費	50,000	50,000	100,000

印刷製本費	(5 : 5)	0	0	0
光熱水料費	(6 : 4)	120,000	80,000	200,000
保険料	(6 : 4)	48,000	32,000	80,000
賃借料	(3 : 7)	0	0	0
諸謝金	(3 : 7)	0	0	0
支払手数料	(6 : 4)	30,000	20,000	50,000
租税公課	(6 : 4)	30,000	20,000	50,000
九州地域放射線技師会費負担金	(5 : 5)	160,000	160,000	320,000
減価償却費	(6 : 4)	244,800	163,200	408,000
雑費	(5 : 5)	50,000	50,000	100,000
経常費用計		6,225,800	1,852,200	8,078,000
				0
当期経常増減額		△ 2,428,300	585,300	△ 1,843,000
				0
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計		0	0	0
(2) 経常外費用				0
経常外費用計			0	0
当期経常外増減額		0	0	0
				0
当期一般正味財産増減額		△ 2,428,300	585,300	△ 1,843,000
他会計振替額				0
一般正味財産期首残高				25,127,140
一般正味財産期末残高				23,284,140
II 指定正味財産増減の部				0
当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
III 正味財産期末残高		0	0	23,284,140

発創をカタチに

～企画・デザイン・印刷・Web・動画～

「日本webユーザーズ協会」主催の
「2025日本web大賞」において
「協会特別賞(金賞)」を受賞
奄美の船旅ポータルサイト
<https://amami-shiptrip.jp/>

3Dプリンター+3Dスキャナー始めました。

株式会社 **トライ社**

【本社】鹿児島市南林寺町12-6
TEL.099-226-0815

【Web】<https://www.try-sha.com>



